第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-1-1	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第1項すばらしい自然・景観・環境の保全と創出
施策名	**1　自然環境の保全と共生**
めざす姿	●本村の広大な自然を後世に引き継ぐため、今後も保全と共生に努めます。 ●住民参画による環境保全対策をより促進し、自然環境の保全と共生を進めます。 ●公共事業や開発等で失われた自然を新たに創出、代替する方法を検討します。 ●無秩序な樹木の伐採や虫食い状態の乱開発等を防止するため、現行制度の見直し強化を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 原村環境保全条例・規則の見直しと開発指導基準の整備	20%	30%	30%			実施中
② 環境保全に関する広報活動の推進	0%	20%	40%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
開発指導基準の整備	1件	3件		1件	0件			○
【戦略】原村環境保全条例の見直し	調査・検討中	改正済み	調査・検討中	調査・検討中	調査・検討中			○

貢献するSDGs目標

6	11	12	15	17				
水・衛生	持続可能都市	消費生産	自然保護	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	1.0	1.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	社会情勢の変化に対応できるよう環境保全条例の内容を見直す必要があるが、他の計画や個人の権利とのバランスを考慮する必要があり、作業に時間を要する。		社会情勢の変化に対応できるよう環境保全条例の内容を見直す必要があるが、他の計画や個人の権利とのバランスを考慮する必要があり、作業に時間を要する。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	令和3年度にまとまった素案を基に、更なる検討、環境保全審議会への諮問を要するが、限られた人員の中で計画的に進める必要がある。		令和3年度にまとまった素案を基に、更なる検討、環境保全審議会への諮問を要するが、限られた人員の中で計画的に進める必要がある。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-1-2	担当部署	建設水道課（環境係）・商工観光課（田舎暮らし推進係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第1項すばらしい自然・景観・環境の保全と創出
施策名	**2　美しい景観の保全と創出**
めざす姿	●すばらしい自然や景観は住民共通の資産として捉え、美しい景観の村づくりを村全体で取組みます。 ●良好な風景・景観を維持、育成するには、住民や事業者の理解・協力が不可欠であることを啓発します。 ●公共事業等においては、景観に配慮した構造物へと転換を図ります。 ●景観形成に対する方針を踏まえた村づくりを推進することで、美しい景観の保全・創出に取り組みます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 景観形成基本方針の推進		10%	30%			検討中
② 美しい村づくりへの取組み	60%	70%	80%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
景観形成基本方針の実行	令和2年度景観形成基本方針策定	推進組織の設置による景観形成基本方針に基づいた制度や計画の策定		方針に基づくワークショップ等の研究、調査				○

貢献するSDGs目標

6	11	12	15	17				
水・衛生	持続可能都市	消費生産	自然保護	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	1,116,413	1,225,185		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,116,413	1,225,185		
職員数	正規職員	人	1.0	0.7		
	会計年度任用職員	人		1.0		
	合計	人	1.0	1.7		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	【環境・D】方針に挙げられている課題等について広く意見を交換できる場を設けるために検討を行ってきたが、新型コロナウイルスのため人を集めることが難しかった。 【田舎・C】美しい村づくり自慢を募集し、自主的な住民の活動の掘り起こし・周知を行った。		【環境】中学生及び環境保全審議会委員、美しい村づくり推進協議会委員によるワークショップを開催した。 【田舎】9月より地域おこし協力隊を採用し、これまで以上も活動を推進することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【環境】令和3年度に実施できなかったワークショップの企画及び実施。 【田舎】令和4年度より地域おこし協力隊を採用し、推進を図る。		【環境】令和4年度のワークショップの結果を基に、令和5年度にもワークショップを実施する。 【田舎】長野県の「元気づくり支援金」への申請を行い、さらなる推進を図る。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-1-3	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第1項すばらしい自然・景観・環境の保全と創出
施策名	**3　緑と花いっぱい運動の推進**
めざす姿	●住民とともに幹線道路への花や街路樹の植栽を行い、管理に愛着を持ってもらい公民協働の村づくりを推進します。 ●美しい花の景色を楽しめるよう休耕田を活用するなど、村全体をトータルコーディネートした計画を策定し、ストーリー性をもった取組みを進めます。 ●公民協働の村づくりの取組みとして、幹線道路への花、街路樹の植栽を推進し、美しい村づくりを推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 住民参加による花や街路樹の植栽	20%	40%	50%			実施中
② 管理や手入れに対する住民の参画促進	20%	40%	50%			実施中
③【戦略】幹線道路への花や街路樹の植栽の推進	20%	40%	50%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
住民参加による花や街路樹の植栽	7か所	8か所		6か所	7か所			○
【戦略】住民協定団体との協働による道路景観の美化活動	2回	4回	2回	2回	2回			○

貢献するSDGs目標

11	12	15	17					
持続可能都市	消費生産	自然保護	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項　目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事　業　費		円	180,000	165,622		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県 支 出 金	円				
	地　方　債	円				
	その他特財	円				
	一 般 財 源	円	180,000	165,622		
職員数	正 規 職 員	人	0.2			
	会計年度任用職員	人		0.2		
	合　　計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	各地区の老人クラブ及び住民協定団体2団体を中心に、花壇づくりや草刈作業等の景観美化活動が行われ、事業に対して補助金を交付した。		各地区の老人クラブ及び住民協定団体2団体を中心に、花壇づくりや草刈作業等の景観美化活動が行われ、事業に対して補助金を交付した。また、ラベンダー里親会によるズームライン沿いでの植栽が行われている。（建設係事業）					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	前年度同様に継続して実施していく。		前年度同様に継続して実施していく。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-1-4	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第1項すばらしい自然・景観・環境の保全と創出
施策名	**4　道路・河川の美化運動の推進**
めざす姿	●村内の幹線道路沿いや河川敷においては、住民と行政が一体となり、身近な管理は地域住民にお願いしながら、ボランティア活動として参加しやすい輪を広げつつ、村内を美しくするための運動を推進します。 ●原村不法投棄の防止等に関する条例を周知し、不法投棄の防止を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 清掃活動のPRと住民参加の促進	80%	80%	80%			実施中
② ポイ捨て防止のための広報の推進	80%	80%	80%			実施中
③ 環境維持事業の推進	80%	80%	80%			実施中
④ 外来種の駆除	80%	30%	40%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
環境美化活動の推進	年2回（春:全地区、秋:任意）	年3回（全地区）		年2回（春:任意、秋:全地区）	年2回（春:任意、秋:全地区）			○
【戦略】公民協働による特定外来植物の駆除作業	2回	3回	2回	5回	4回			◎
【戦略】各区・自治会との協働による地域清掃活動	2回	1回	1回	1回	1回			◎

貢献するSDGs目標

3	6	11	14	15	17			
健康福祉	水・衛生	持続可能都市	海洋資源	自然保護	パートナーシップ			

費用と職員の状況

項　目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事　業　費		円	22,000	35,200		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県 支 出 金	円				
	地　方　債	円				
	その他特財	円				
	一 般 財 源	円	22,000	35,200		
職員数	正 規 職 員	人	0.4	0.1		
	会計年度任用職員	人		0.1		
	合　　計	人	0.4	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	保健衛生自治推進協議会や各区等の協力を得て、清掃活動や外来種の駆除を実施した。外来種の駆除については、各区の活動に対して、村が収集運搬車を手配する方法に今年度より変更した。天候や新型コロナウイルス感染症等で中止とする団体もみられる。		保健衛生自治推進協議会や各区等の協力を得て、清掃活動や外来種の駆除を実施した。外来種の駆除については、各区の活動に対して、村が収集運搬車を手配する方法に今年度より変更した。天候や新型コロナウイルス感染症等で中止とする団体もみられる。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	外来種の駆除については令和3年度の方法を継続して行う。併せて、河川清掃担当者等と協力し、各区への協力依頼を強化する。		外来種の駆除については令和4年度の方法を継続して行う。併せて、河川清掃担当者等と協力し、各区への協力依頼を強化する。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-1-5	担当部署	建設水道課（建設係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第1項すばらしい自然・景観・環境の保全と創出
施策名	**5　環境にやさしい公共事業**
めざす姿	●自然環境、生活環境に配慮した、環境にやさしい公共事業を推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 環境にやさしい公共工事の推進		30%	50%			実施中
② 道路の支障木の伐採		20%	40%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
道路の支障木の伐採	年1,000m	年1,000m		1,110m	500m			○

貢献するSDGs目標

3	8	9	11	14	15			
健康福祉	経済成長	産業基盤	持続可能都市	海洋資源	自然保護			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	1,716,000	1,217,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,716,000	1,217,000		
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	通行に支障がある箇所の伐採を行っている。民地に植わっている樹木は基本地権者に対応してもらう。		通行に支障がある箇所の伐採を行っている。民地に植わっている樹木は基本地権者に対応してもらう。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	道路パトロール、区要望を基本に、道路環境の維持・改善を図る。		道路パトロール、区要望を基本に、道路環境の維持・改善を図る。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-1-6	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第1項すばらしい自然・景観・環境の保全と創出
施策名	6　公害対策
めざす姿	●行政、住民、事業者が連携して監視体制の強化を図り、公害の未然防止、不法投棄や屋外焼却の撲滅を図ります。 ●農業等の生産活動における公害防止とモラルの向上を図るとともに、公害に至らない迷惑行為については、住民相互で防止し、解決する努力も必要であることを啓発します。 ●ペットを持つ飼い主のマナー向上を推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 公害に対する監視体制の強化と事業者及び住民への意識啓発の推進		30%	40%			実施中
② ごみの不法投棄、屋外焼却の撲滅をめざしての監視体制の強化と住民への意識啓発		30%	40%			実施中
③ 公害問題に関する相談窓口の充実		10%	30%			実施中
④ ペットのふん害対策の推進		30%	40%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
不法投棄物の処理量	58t	29t以下		34.1㎥他	19.5t			○

貢献するSDGs目標

3	6	11	12	14	17			
健康福祉	水・衛生	持続可能都市	消費生産	海洋資源	パートナーシップ			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	340,010	202,565		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	340,010	202,565		
職員数	正規職員	人	0.4	0.1		
	会計年度任用職員	人		0.3		
	合計	人	0.4	0.4		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	意識啓発については、広報活動を中心に実施。公害問題に関する相談窓口及び監視体制については、専門的知識のない職員が限られた人員、時間の中で予測できず幅広い内容に対応するため、充実化は困難。		意識啓発については、広報活動を中心に実施。公害問題に関する相談窓口及び監視体制については、専門的知識のない職員が限られた人員、時間の中で予測できず幅広い内容に対応するため、充実化は困難。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	現状の職員体制では、相談に対応する形での実施のみの予定。		現状の職員体制では、相談に対応する形での実施のみの予定であるが、研修等を受講し公害に対する知識の習得を図る。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）

特記事項

前年度評価：E

総合評価：C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-2-1	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第2項持続可能な「循環型社会」の創出
施策名	1　ごみの排出抑制とリサイクル
めざす姿	●ごみ排出に対する住民意識の啓発に努めます。 ●ごみ処理基本計画の目標を達成できるよう、行政、事業者、住民がそれぞれの役割分担を認識し、ごみの発生抑制、再使用、再利用に取組みます。 ●ごみの排出量を抑制し、焼却ごみゼロをめざすため、3R（発生抑制、再使用、再利用）運動や観光客へのごみ持ち帰り運動等に取り組みます。 ●生ごみの堆肥化を支援する施策を通じて、リサイクル活動を促進します。 ●リサイクルの可能性を研究し、資源の循環を促進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① ごみの分別排出の徹底とごみ排出抑制に対する住民意識の啓発		30%	40%			実施中
② ごみの排出区分の細分化と資源化の推進		80%	80%			概ね実施済
③ 生ごみの自家処理の推進と堆肥化の推進		80%	80%			実施中
④ ごみ持ち帰り運動の推進		0%	0%			未実施
⑤ 3R（発生抑制、再使用、再利用）運動の推進		30%	40%			実施中
⑥ 不用となった食器の再利用の促進		0%	0%			中　止
⑦ 循環型社会とリサイクルに関する趣旨の啓発		30%	40%			実施中
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
一人が1日当たりに排出する家庭系ごみ	551g	440g		580g（R2）	543g（R3）			○
ごみのリサイクル率	18.5%	20%以上		21.3%（R2）	17.1%（R3）			○

貢献するSDGs目標

11	12	17						
持続可能都市	消費生産	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項　目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事　業　費		円	12,170,018	24,110,440		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県 支 出 金	円				
	地　方　債	円				
	その他特財	円	250,046	85,000		
	一 般 財 源	円	11,919,972	24,025,440		
職員数	正 規 職 員	人	0.7	0.2		
	会計年度任用職員	人		0.5		
	合　　計	人	0.7	0.7		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	10月から諏訪南リサイクルセンターが稼働し、これまで不燃物として取り扱っていた「空き缶類」を資源物として回収した。 不燃物の収集方法がこれまでと同様のため、「空き缶類」の資源化の継続した啓発が必要。		令和3年度から「空き缶類」を資源物として回収しているが、回収量は徐々に増加している。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	「空き缶類」のリサイクル率を向上させるため、分別することで得られる収入等を示しながら広報啓発を継続する。		「空き缶類」のリサイクル率を向上させるため、分別することで得られる収入等を示しながら広報啓発を継続する。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-2-2	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第2項持続可能な「循環型社会」の創出
施策名	**2　ごみ処理体制の広域化**
めざす姿	●ごみの排出区分については、茅野市・原村・富士見町で統一したことにより、さらなる循環型社会の構築を目指します。 ●南諏衛生施設組合のし尿処理施設について、老朽化への対応を検討します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① し尿処理施設の検討		0%	10%			検討中
② 諏訪南清掃センターの検討		0%	30%			検討中
③ 最終処分場の検討		0%	30%			検討中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
老朽化したし尿処理施設への対応	検討開始	施設延命化のための更新又は処理施設を村単独で所有するかなど、処理方法の決定		R4年度の検討開始に向けた準備	南諏衛生施設組合における検討、施設見学等			○

貢献するSDGs目標

9	11	12	17					
産業基盤	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.3	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.3	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	諏訪南行政事務組合、南諏衛生事務組合でそれぞれ検討を進めた。		諏訪南行政事務組合、南諏衛生事務組合でそれぞれ検討を進めた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	諏訪南行政事務組合、南諏衛生事務組合でそれぞれ検討を進める。		諏訪南行政事務組合、南諏衛生事務組合でそれぞれ検討を進める。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-2-3	担当部署	農林課（農政係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第2項持続可能な「循環型社会」の創出
施策名	**3　環境と農業のかかわり**
めざす姿	●畑等から河川に流入する肥料成分（窒素、リン）を抑制し、水質の浄化に取り組みます。また、懐かしい里山の風景を再現し、生物や植物の多様性を維持・回復することで、子どもたちに水生生物や植物の観察等体験学習の場を提供します。 ●農業用プラスチックについては、資源や燃料としての再利用を検討し、あわせて生分解性マルチなどのエコロジー資材の導入も推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 土壌診断による適正施肥、減農薬と有機農法の推進		40%	50%			実施中
② 農業用廃プラスチックの適正処理と資源活用		0%	20%			検討中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
農業用廃プラスチック処理量	51.4t	48.8t		29.1t	37.4t			◎

貢献するSDGs目標

3	6	11	12	14	15			
健康福祉	水・衛生	持続可能都市	消費生産	海洋資源	自然保護			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	648,057	420,347		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	648,057	420,347		
職員数	正規職員	人	0.1	0.1		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	有機栽培産地確立事業については、継続して実施している。 農業用廃プラスチック関係については、主体をJAとし回収作業に協力した。		有機農業を志す団体を支援し、環境保全型農業を行う団体とマッチングを行った。 農政係と環境係から職員を派遣し、JAが春と秋に行う農業用廃プラスチックの回収作業に協力した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**拡大**	今後の方針	**拡大**	今後の方針		今後の方針	
	肥料・農薬の高騰対策やみどり戦略に対応するためにも、一層の適正施肥、減農薬と有機農法を推進する。		近年の農業生産資材の高騰が適正施肥や減農薬への追い風になっている。 生分解性マルチの導入補助を検討する。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-3-1	担当部署	建設水道課（環境係）・総務課（総務係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第3項地球温暖化防止対策
施策名	**1　再生可能エネルギー利用の促進及び省エネルギーへの取り組み**
めざす姿	●地球環境や村の環境保全に寄与する再生可能エネルギーの導入を促進するため、村の森林資源等を活用するとともに、農業生産との連携や再生可能エネルギー利用による新たな産業、雇用の創出を図ります。 ●また、持続可能な社会の構築を目指し、住民の一人ひとりが環境に配慮した行動ができるよう節電・省エネ運動や環境教育、学習機会を充実させ、地球温暖化問題に対する住民意識の高揚を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 再生可能エネルギーの導入促進・省エネルギーの推進	0%	10%	30%			実施中
② 環境学習の充実	0%	30%	80%			実施中
③ 公共施設等における温室効果ガス削減	80%	90%	90%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
環境学習会等を通して、新たな施策を検討	—	策定		—	—			○
【戦略】公共施設の温室効果ガスの排出削減	963,626 kg-CO2 (R1)	947,700 kg-CO2		1,009,977 kg-CO2	964,396 kg-CO2			○
【戦略】環境学習会の開催	— (R2)	2回/年	0回	2回	1回			○

貢献するSDGs目標

1	2	3	7	8	9	11	12	13
貧困	飢餓	健康福祉	エネルギー	経済成長	産業基盤	持続可能都市	消費生産	気候変動
14	15	17						
海洋資源	自然保護	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	6,124,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.5	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果、課題など 評価	C	B		
成果、課題など	【環境・B】環境学習を小中学校に向けて年2回実施、次年度のエネルギー対策として公共施設への太陽光パネルの設置に関するポテンシャル調査の実施を計画。 【総務・D】温室効果ガスの排出量削減のため、暖房の運転時間・温度の管理、ハイブリッド公用車の積極的使用、施設内照明のこまめな消灯などに取り組んでいるが、目標は達成できていない。	【環境:B】公共施設への屋根のせ太陽光発電設備導入ポテンシャル調査の実施。住民向け環境学習会の実施。原村既存住宅エネルギー自立化補助金の実施。 【総務・C】昨年に引き続き暖房の運転時間・温度の管理、各施設内照明のこまめな消灯などに取り組んだことにより温室効果ガスの排出量は減少したが、前年度に比べ使用量が増加している施設もある。		
次年度の予定、改善点など 今後の方針	継続	継続		
次年度の予定、改善点など	【環境】ポテンシャル調査の実施、環境学習の実施を予定。 【総務】徹底した暖房の運転管理、照明のこまめな消灯、公用車におけるハイブリッド車または電気自動車への更新など。	【環境】原村地球温暖化防止実行計画区域施策編の策定。事務事業編の改定に向けた総務が明かりとの連携。 【総務】公用車のハイブリット化、冬季暖房の運転管理、照明等電気機器の不使用時のこまめな節電など。		

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-4-1	担当部署	農林課（農村整備係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第4項水資源の確保・保全と上下水道の整備
施策名	**1　水資源の確保と調整**
めざす姿	●河川の水質改善や汚染防止に努め、安全な水資源の確保を図ります。 ●水資源の保全、確保のために、植林や間伐等の森林を整備します。 ●井戸による地下水の利用については、原村環境保全条例の基準に沿った利用を図ります。また、水道水、農業用水とも年々需要が増加し、安定的水資源の確保が必要なため、深井戸については水利調整を行うとともに、効率的、安定的な水利用を図るため、計画的な施設整備を推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 水源地の保全（保安林の適切な維持管理）	20%	40%	60%			実施中
② 農業用施設の適正な維持管理の推進	20%	40%	60%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
ため池浚渫工事、畑かん揚水機場ポンプ入替工事の実施	年1か所	年1か所		2か所	1か所			○

貢献するSDGs目標

2	6	12	13	15				
飢餓	水・衛生	消費生産	気候変動	自然保護				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	30,346,900	9,842,500		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円	2,842,300	3,442,700		
	地方債	円				
	その他特財	円	24,792,011	5,526,047		
	一般財源	円	2,712,589	873,753		
職員数	正規職員	人	1.0	1.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	国県等の事業について、事業採択がおおむね計画通りに進んでいる。		国県等の事業について、事業採択がおおむね計画通りに進んでいる。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	事業採択に向け継続して事業要望していく。		事業採択に向け継続して事業要望していく。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-4-2	担当部署	建設水道課（上下水道係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第4項水資源の確保・保全と上下水道の整備
施策名	**2　給水施設の整備と施設の有効利用**
めざす姿	●「安全でおいしい水」供給のため水道事業を実施します。 ●災害に強いライフライン整備のため、断水区域を最小限にします。 ●水の安定供給のため、老朽化したVP管(塩ビ管)の布設替えを計画的に施工していきます。 ●水道事業の健全経営を推進するため、コスト縮減や効率的経営に努めていきます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 老朽管の布設替えの実施	0%	10%	20%			実施中
② 災害に強い水道設備の整備	0%	10%	20%			実施中
③ 健全経営の推進		10%	20%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
老朽管の布設替え延長	年1～2km	年2km以上		0.3km	0.5km			△
【戦略】耐震管への布設替え	7%	20%	7.5%	10.2%	12.9%			△

貢献するSDGs目標

6	9	11	17					
水・衛生	産業基盤	持続可能都市	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項　目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事　業　費		円	25,300,000	38,291,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県 支 出 金	円				
	地　方　債	円				
	その他特財	円				
	一 般 財 源	円	25,300,000	38,291,000		
職員数	正 規 職 員	人	0.3	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合　　計	人	0.3	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	材料費の高騰による見直しはあったものの、おおむね順調に進めることが出来た。 仮設配管切り替えによる、短期間での断水。		材料費の高騰による見直しはあったものの、おおむね順調に進めることが出来た。 仮設配管切り替えによる、短期間での断水。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	送水管布設替えによる耐震化。		送水管布設替えによる耐震化。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-4-3	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第4項水資源の確保・保全と上下水道の整備
施策名	**3　水質保全と生活排水浄化施設の整備**
めざす姿	●水環境が豊かな村として発展していくため、「水環境・資源循環のみち2015」構想に基づいて浄化槽を含む生活排水処理施設の機能や利用者の利便性・快適性を維持し、適切な維持管理のもとに生活排水対策を行います。 ●河川の水質向上に向けて森林の保全や環境型農業への転換、河川の自浄作用の回復を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 河川等の水質検査の継続実施	100%	100%	100%			実施中
② 浄化槽設置者への適正な維持管理意識の啓発	100%	100%	100%			実施中
③ 下水道整備区域外のし尿・生活排水の処理	80%	80%	80%			実施中
④ 浄化槽排水の処理方法の研究	80%	80%	80%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
合併処理浄化槽清掃率	15%	45%	15%	15%	12%			△
【戦略】合併処理浄化槽法定検査率	81%	87%	77.0%	78%	79%			○

貢献するSDGs目標

3	6	11	14	15	17			
健康福祉	水・衛生	持続可能都市	海洋資源	自然保護	パートナーシップ			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	10,718,520	17,104,390		
財源内訳	国庫支出金	円	1,746,000	6,060,000		
	県支出金	円	3,016,000	4,820,000		
	地方債	円				
	その他特財	円		8,957		
	一般財源	円	5,956,520	6,215,433		
職員数	正規職員	人	0.7	0.7		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.7	0.7		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	水質検査、浄化槽設置者への啓発、浄化槽等設置補助について計画通りに実施。		水質検査、浄化槽設置者への啓発、浄化槽等設置補助について計画通りに実施。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	下水道未整備地域への移住が増えている中、浄化槽協会と連携し、法定検査や清掃への呼びかけを予定。		下水道未整備地域への移住が増えている中、浄化槽協会と連携し、法定検査や清掃への呼びかけを予定。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-4-4	担当部署	建設水道課（上下水道係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第4項水資源の確保・保全と上下水道の整備
施策名	**4　下水道事業の運営管理**
めざす姿	●下水道施設の適切な維持管理に努め、利用者の利便性を維持します。 ●下水道事業の健全経営を推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 下水道接続率向上のための啓発活動の推進		10%	20%			実施中
② 計画的な管路調査による維持管理の推進	0%	10%	20%			実施中
③ 下水道使用料の適正な料金体系の検討		0%	10%			検討中
④ 健全経営の推進		10%	10%			実施中
⑤【戦略】計画的な下水道施設の更新	0%	10%	10%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
下水道接続率の向上	98.6%	99.0%		98.6%	98.9%			△
管路調査	年1km	年2km		1.7km	1.3km			△
【戦略】維持管理のための管路調査	14%	20%	15.5%	17.5%	18.5%			○

貢献するSDGs目標

3	6	11	14	17				
健康福祉	水・衛生	持続可能都市	海洋資源	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	23,925,000	28,633,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	23,925,000	28,633,000		
職員数	正規職員	人	0.3	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.3	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	おおむね順調に進めることが出来た。		おおむね順調に進めることが出来た。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	継続して施設更新及び管路調査等による維持管理に努める。		継続して施設更新及び管路調査等による維持管理に努める。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-5-1	担当部署	総務課（企画振興係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第5項自然と調和した居住環境の整備
施策名	**1　住宅用地の確保**
めざす姿	●人口減少対策と少子化防止のため、村の中心に近い場所に若い子育て世代の移住・定住促進のための優良で安価な住宅地の確保を推進します。 ●耕作不適地の転用を推進するとともに、住宅用地の需要と民間事業者による住宅用地供給のバランスを見極めながら、本村に転入を希望する人々の受け皿としての住宅団地の整備を検討します。 ●分譲住宅用地以外にも若年層を中心とする生産年齢人口の移住・定住の促進に効果的な公営住宅用地の確保と建設を検討します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 払沢上フラワー団地の分譲促進	80%	90%	100%			実施済
② 新たな住宅団地整備の検討	20%	20%	20%			検討中
③ 耕作放棄地等を中心とした住宅用地への転用推進	0%	0%	0%			未実施
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
新たな住宅地の分譲開始	0区画	5区画	0区画	0区画	0区画			△

貢献するSDGs目標

5	9	11	12	17				
ジェンダー	産業基盤	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	フラワー団地を2区画販売し、住宅地の確保を推進ができた。		フラワー団地1区画を販売し、全区画完売できたことで住宅地の確保を推進できた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	継続してフラワー団地を販売し、完売させる。併せて新たな分譲地について検討していく。 ③耕作放棄地等を中心とした住宅用地への転用推進は農地法の趣旨と異なるため実施は困難。		新たな分譲地の確保等について検討していく。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-5-2	担当部署	建設水道課（環境係）・商工観光課（田舎暮らし推進係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第5項自然と調和した居住環境の整備
施策名	**2　住宅対策の拡充**
めざす姿	●少子高齢化のなかで村を維持し活力ある地域をつくるため、さらなる若者の移住・定住を促進するため、住宅地整備を充実します。 ●近い将来発生すると想定される東海地震、東南海地震、首都圏地震等から、住民の生命、財産を保護するため、耐震診断や耐震補強工事を促進します。 ●空き家を利活用しながら、移住・定住へ繋げていきます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 住宅耐震改修事業	20%	30%	40%			実施中
② 空き家の利活用	0%	20%	30%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
移住・定住を促進するための事業の策定	未策定	空き家等を利用し、定住促進につながる補助制度の策定		1事業	1事業			◎

貢献するSDGs目標

5	9	11	12	17				
ジェンダー	産業基盤	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	2,360,000	7,130,000		
財源内訳	国庫支出金	円	680,000	65,000		
	県支出金	円	315,000	32,500		
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,365,000	7,032,500		
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	【環境】耐震改修事業1件、耐震診断士派遣事業4件、危険ブロック塀除去工事1件に補助を行った。令和3年度からの新規事業である空家有効活用促進補助金は購入1件の補助金交付を行った。		【環境】耐震診断士派遣事業2件に補助を行った。空家有効活用促進補助金は購入7件の補助金交付を行った。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【環境】前年度同様に継続して事業を行う。		【環境】前年度同様に継続して事業を行う。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-5-3	担当部署	建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第5項自然と調和した居住環境の整備
施策名	**3　各種規制の検討**
めざす姿	●優れた住宅環境やまち並みの保全を図るため、新たにきめ細かな開発基準等の整備を行い、統一のとれた制度として推進していきます。また、新たに行われる大規模な宅地開発等においては、建築協定等を結び、自然環境や景観、生活環境に配慮した住宅地の形成を図ります。さらに、住宅の増加等を考慮すると、計画的な土地利用を進め無秩序な開発を防止するため規制等についても検討します。 ●うるおいのある住宅地の形成に向け、建築ガイドラインや住民協定等を検討します。 ●住みやすくうるおいのある住環境を創出するには、住民の弛みない努力が必要であることを啓発します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 原村環境保全条例に基づく適正な規制と誘導		40%	40%			実施中
② 自然環境や景観、生活環境に配慮したうるおいのある住宅地の形成		40%	40%			実施中
③ 各種条例等の導入に関する検討		30%	30%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
良質な住環境を創出するための施策の検討	未策定	開発指導基準の作成等、原村環境保全条例の見直し		素案作成中	素案作成中			○

貢献するSDGs目標

6	11	15	17					
水・衛生	持続可能都市	自然保護	パートナーシップ					

費用と職員の状況

	項　目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事　業　費	円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県 支 出 金	円				
	地　方　債	円				
	その他特財	円				
	一 般 財 源	円				
職員数	正 規 職 員	人	1.0	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合　　計	人	1.0	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	D	評価		評価	
	環境保全条例の見直しについて素案をまとめた。		環境保全条例の見直しについて、素案の検討等を行う予定であったが人員の不足等により実施できなかった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	素案を更に検討し、環境保全審議会へ諮問する予定。		環境保全審議会へ諮問するための素案作りを実施予定。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	D

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-5-4	担当部署	総務課（企画振興係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第5項自然と調和した居住環境の整備
施策名	**4　公園・緑地・水辺空間の整備促進**
めざす姿	●安心して子育てが出来る環境を整えるため、子どもを遊ばせながら大人も憩う事が出来る公園の整備や既存公園の見直しを検討します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 自然と暮らしが調和した公園・緑地等の整備促進	0%	0%	0%			未実施
②【戦略】親水空間整備を視野に入れた環境整備	0%	0%	0%			未実施
③【戦略】子供を安心して遊ばせることのできる公園の整備促進	0%	0%	0%			未実施
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
おらほうのむらづくり事業・コミュニティ事業の活用件数	2件（年）	3件（年）		0件	0件			△

貢献するSDGs目標

6	11	12	15					
水・衛生	持続可能都市	消費生産	自然保護					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.1	0.1		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	D	評価	D	評価		評価	
	おらほうのむらづくり事業やコミュニティ助成事業が本施策に活用できるが、区や自治会等の意向に左右される課題がある。		コミュニティ助成事業で公園整備について区から相談はあったが、申請には至らなかった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	区や自治会等に補助金の活用を積極的に周知していきたい。		区や自治会等に補助金の活用を積極的に周知していきたい。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	D

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-6-1	担当部署	建設水道課（建設係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第6項人にやさしい道路・ネットワークの整備
施策名	1　主要地方道・県道の整備促進
めざす姿	●地元住民から切実な要望のある拡幅改良や歩道設置等の事業化を図るため、関係機関と連携し、地権者の理解が得られるよう調整を図ります。 ●道路管理者である県と情報交換・提供、要望等緊密に連携をとり、住民が安心して利用できる道路環境整備を図ります。 ●国道20号坂室バイパスへの接続の円滑化を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 県道196号 一般県道・神ノ原青柳停車場線の歩道設置（払沢）		0%	0%			実施中
② 県道197号 払沢茅野線、宮川・坂室のJRガード下の拡幅改良		0%	0%			実施中
③ 県道17号 主要地方道・茅野北杜韮崎線の歩道設置（中新田地区内）	40%	40%	40%			実施中
④【戦略】県道197号 払沢茅野線、宮川・坂室のJRガード下の拡幅困難による代替ルート整備	0%	0%	0%			実施中
⑤【戦略】県道196号 神ノ原青柳停車場線の拡幅改良（払沢）	20%	20%	20%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
一般県道・神ノ原青柳停車場線の歩道設置	0m	300m		0m	0m			○
【戦略】県道197号代替ルート整備	0.2%	6%	1%	1%	1%			○
【戦略】県道17号歩道設置	52.3%	53%	52.3%	52.3%	52.3%			△
【戦略】県道196号拡幅改良	5%	40%	20%	20%	20%			○

貢献するSDGs目標

3	9	11	13	17				
健康福祉	産業基盤	持続可能都市	気候変動	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.1	0.1		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	C	評価		評価	
	①、③、⑤について沿道地権者に対して補償費用が高額になり工事にかける予算確保に課題がある。		①、③は歩道幅を1.5mから2.0mに計画を変更する。地権者説明会を実施した。 ②について柏木区に説明会を実施した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	引き続き県に要望をあげつつ、県に協力し事業の進捗を図ってゆく。		引き続き県に要望をあげつつ、県に協力し事業の進捗を図ってゆく。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-6-2	担当部署	建設水道課（建設係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第6項人にやさしい道路・ネットワークの整備
施策名	**2　村道の維持管理と整備促進**
めざす姿	●安全で円滑に走行でき、他地域へのアクセス向上対策を図るため、合理的な整備を検討します。 ●道路構造物の老朽化が進行していますので、早期に現状を把握し、点検・診断・措置・記録によりメンテナンスサイクルの構築を図り、老朽化対策に取組みます。 ●橋梁等の長寿命化計画策定に向けた取組みを実施し、適切なメンテナンスを行うとともに長期的なコスト圧縮を図り、予防保全型の維持管理に努めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 村道の計画的な整備の促進		40%	60%			実施中
② 道路等の老朽化対策		40%	60%			実施中
③ 茅野市、JR青柳駅へつながる道路の拡幅改良（御狩野判之木線）	40%	100%	100%			実施済
④ 中央道側道の拡幅改良		0%	0%			未実施
⑤ 橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の保全	0%	0%	10%			実施中
⑥【戦略】村中道の改良舗装	20%	30%	50%			実施中
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
橋梁点検、診断の結果に基づく計画的な修繕	5橋	12橋		1橋	1橋			○
舗装道路の整備(舗装率)	56.2%	58.0%		55.7%	55.9%			△
【戦略】判之木御狩野線の拡幅改良	21%	100%	40%	100%	100%			◎
【戦略】村中道の改良舗装	0%	38%	20%	25%	30%			○
【戦略】橋梁長寿命化修繕計画に基づいた保全	4%	20%	4%	10%	10%			○

貢献するSDGs目標

3	9	11	13	17				
健康福祉	産業基盤	持続可能都市	気候変動	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	86,855,560	58,474,350		
財源内訳	国庫支出金	円	26,350,000	10,632,000		
	県支出金	円				
	地方債	円	10,200,000	1,600,000		
	その他特財	円	9,601,720	4,853,136		
	一般財源	円	40,703,840	41,389,214		
職員数	正規職員	人	0.8	0.8		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.8	0.8		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	④は地権者の協力が必要。①、②については随時対応している状況。		④の道路用地について地権者に用地取得を要請。。①、②については随時対応している状況。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	橋梁の点検を継続して実施。令和5年度に第3期橋梁長寿命化計画の計画策定を予定している。		④は令和5年度用地買収予定。6年度工事に向けて国庫補助申請予定。 ⑤について令和5年度橋梁架替工事予定。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-6-3	担当部署	建設水道課（建設係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第6項人にやさしい道路・ネットワークの整備
施策名	**3　交通安全と道路環境の整備**
めざす姿	●道路体系の見直しによる交差点改良、交通安全施設の整備に引き続き取り組みます。 ●関係団体や地域住民と連携し、現地に適合した安全施設を整備するとともに関係機関に要望します。 ●歩行者については、高齢者や障がい者等誰でも安心して歩けるようにするため、歩道や道路照明の設置について検討します。 ●関係機関と協力し、通学路の危険箇所の点検、横断歩道の設置要望等を行ないます。 ●交通事故防止については、継続的な活動を行う事が必要であるので、普及・啓発活動を継続し、交通安全意識の高揚を図るとともに、学校・PTAなどあらゆる機会をとらえ、交通安全教育の推進を図ります。 ●冬期間における交通安全を確保するため、道路の除雪・融雪体制の充実を図り、安全な道路環境の整備を推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 交通安全施設の計画的な整備	20%	30%	50%			実施中
② 安定的・継続的な除雪体制の確保	100%	100%	100%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
年間交通事故発生件数	17件（H27～R	16件以下		6件	12件			○
通学路歩道整備（グリーンライン設置件数）	4箇所	年1箇所（復元も含む）		0箇所	3箇所			○
【戦略】交通事故防止による整備	実施	実施	実施	実施	実施			○
【戦略】除雪・融雪体制の確保	実施	実施	実施	実施	実施			○

貢献するSDGs目標

3	9	11	13	17				
健康福祉	産業基盤	持続可能都市	気候変動	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	19,082,966	15,429,423		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	19,082,966	15,429,423		
職員数	正規職員	人	1.0	1.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	①交通安全施設の修繕を随時行っている。路面標示の復元を随時行っている。 ②令和3年度は降雪量が多く、補正予算を組んで除雪業務を行った。		①交通安全施設の修繕を随時行っている。路面標示の復元を随時行っている。 ②令和4年度は気温が低く融雪剤散布の費用が膨らんだ。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	交通安全施設は区要望を基本に順次対応していく。		交通安全施設についてパトロールで発見したものを修繕していく。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-6-4	担当部署	商工観光課（田舎暮らし推進係）・建設水道課（建設係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第6項人にやさしい道路・ネットワークの整備
施策名	**4　公共交通の充実**
めざす姿	●暮らしやすい地域づくりのため、住民ニーズに応えた、交通体系の構築を目指します。 ●高速バスと公共交通との連携を図り、利便性向上を目指します。 ●高速バス会社とタクシー会社等民間業者と連携し利便性向上を目指します。 ●デマンド型乗合タクシーやライドシェアの導入等、実情に合った交通手段の見直しを目指します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 持続可能な公共交通の利用促進	60%	60%	70%			検討中
② 他の公共交通との連携の検討	20%	50%	50%			検討中
③ 高速バス利用者用の駐車場整備		100%	100%			実施済
④ 高速バス停におけるタクシー情報の充実		0%	0%			未実施
⑤【戦略】新たな交通システムの検討	20%	50%	80%			検討中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
セロリン号利用者数（延べ）	18,862人	20,000人	10,822人	10,328人	11,092人			×
高速バス停駐車場の外灯設置	0灯	4灯	4灯	4灯	4灯			◎

貢献するSDGs目標

5	9	11	17					
ジェンダー	産業基盤	持続可能都市	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	19,045,506	29,567,714		
財源内訳	国庫支出金	円		4,188,139		
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円		2,043,160		
	一般財源	円	19,045,506	23,336,415		
職員数	正規職員	人	0.6	1.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.6	1.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果、課題など 評価	B	A		
成果、課題など	【田舎・C】現状の課題から村内ニーズに対応した新たな交通体系の検討を進め、実施方法について絞り込みを行った。 【建設・A】高速バス利用者用バス停をH29に整備し、R2に外灯の設置を終えている。	【田舎】限られた時間のなかでも、交付金を活用しながら実証運行を行うことができた。 【建設】高速バス利用者用バス停をH29に整備し、R2に外灯の設置を終えている。		
次年度の予定、改善点など 今後の方針	拡大	継続		
次年度の予定、改善点など	【田舎・拡大】令和3年度検討した交通体系の実証運行を次年度に実施する予定。 【建設・終了】利用者の支障が出ないよう防草、除草をおこなっていく。	【田舎・継続】実証運行の結果を踏まえ、公共交通の見直しに取りかかる。 【建設・終了】利用者の支障が出ないよう防草、除草をおこなっていく		

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-7-1	担当部署	消防室

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第7項安心して暮らせる村づくり
施策名	1　消防力の強化
めざす姿	●消防施設・設備の計画的充実により効果的な消防体制づくりを進めます。 ●農閑期や冬季等の減水期における水利の確保を図るとともに、新興住宅に対応した、計画的な整備を行います。 ●魅力ある消防団となるよう検討するとともに、女性消防団員の確保を図り、全消防団員の技術向上を図ります。 ●大規模な災害に対処できる消防団員を確保するとともに、災害時における消防団員OBや地域住民との協力体制の整備について積極的に研究、推進していきます。 ●装備面においても、計画的な更新を図っていきます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 防火貯水槽と消火栓の設置促進	80%	80%	80%			実施中
② 消防団員の確保と育成	100%	100%	100%			実施中
③ 消防車両の更新	100%	100%	100%			実施中
④ 消防屯所の更新	100%	100%	100%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
女性消防団員数	7人	8人		7人	7人			○
消防車両の更新台数	7台（5台更新済み）	2台（4年間累計）		なし	1台			◎
消防屯所の更新数	2棟（1棟更新済み）	1棟（4年間累計）		なし	なし			◎

貢献するSDGs目標

5	11	13	17					
ジェンダー	持続可能都市	気候変動	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	330,000	4,461,306		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円		3,700,000		
	その他特財	円				
	一般財源	円	330,000	761,306		
職員数	正規職員	人	2.0	2.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	2.0	2.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果、課題など	評価 A ①消防水利は「原村消火栓等設置の基準」により運用している。 ②消防団員は定数を確保している。 ③④原村消防団車両配備・屯所建て替え計画に基づき更新している。	評価 A ①消防水利は「原村消火栓等設置の基準」により運用している。 ②消防団員は定数を確保している。 ③④原村消防団車両配備・屯所建て替え計画に基づき更新しており、令和4年度は消防団車両の更新を実施した。	評価	評価
次年度の予定、改善点など	今後の方針 **継続** ①今後も継続する。 ②引き続き入団促進を行う。 ③④計画に基づき進める。	今後の方針 **継続** ①今後も継続する。 ②引き続き入団促進を行う。 ③④計画に基づき進める。	今後の方針	今後の方針

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-7-2	担当部署	消防室

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第7項安心して暮らせる村づくり
施策名	**2　防火意識の高揚**
めざす姿	●個人住宅には住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。設置率100%を目指し、指導・広報を行います。 ●防火意識を高めるため、行政区単位の防災訓練に合わせ消火訓練を行います。また、各事業所への防火指導を徹底します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 一人暮らし高齢者家庭訪問の実施	100%	0%	0%			実施中
② 住宅用火災警報器の設置促進	60%	60%	60%			実施中
③ 原小学校2年生による防火広報の実施	100%	0%	0%			実施中
④ 消火訓練の実施	80%	0%	100%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
住宅用火災警報器設置率	78%	80%以上	73%	75%	76%			○

貢献するSDGs目標

1	11	17						
貧困	持続可能都市	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	2.0	2.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	2.0	2.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	D	評価	D	評価		評価	
	①③④コロナ過のため未実施。 ②平成18年以降新築住宅は100%の設置率であるが、それ以前に建築された住宅には設置推進を行っている。		①③コロナ過のため未実施。 ②平成18年以降新築住宅は100%の設置率であるが、それ以前に建築された住宅には設置推進を行っている。 ④コロナウイルス感染者の減少に伴い、事業所への防火指導、消火訓練が再開され指導依頼についてはすべて対応した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	①③④今後も継続する。 ②様々な機会を捉え設置促進を行う。		①③④今後も継続する。 ②様々な機会を捉え設置促進を行う。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-7-3	担当部署	総務課（情報防災係）・建設水道課（環境係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第7項安心して暮らせる村づくり
施策名	3　防災体制・対策強化
めざす姿	●災害に対して、住民、地域及び村がそれぞれの役割に基づき迅速に対応できる「災害に強い村」を目指します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 防災意識の高揚	100%	100%	100%			実施済
② 連携体制の強化	100%	100%	100%			実施済
③ 防災対策の強化	100%	100%	100%			実施済
④ 緊急物資及び応援体制の確保	100%	100%	100%			実施済
⑤ 住宅等建築物の耐震診断・耐震改修の促進	20%	30%	40%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
自主防災組織の団体数	14団体	15団体		14団体	14団体			△
【戦略】出前講座の実施	1回	2回	1回	2回	2回			◎
【戦略】地域防災計画修正	実施	実施	実施	未実施	実施			○
【戦略】住宅耐震診断	3件	5件	3件	4件	2件			◎
【戦略】住宅耐震改修	1件	2件	0件	1件	0件			◎

貢献するSDGs目標

11	13	17						
持続可能都市	気候変動	パートナーシップ						

費用と職員の状況

	項　目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事　業　費	円	23,690,174	25,853,436		
財源内訳	国庫支出金	円	12,686,458	12,130,000		
	県 支 出 金	円	315,000	32,500		
	地　方　債	円		3,900,000		
	その他特財	円				
	一 般 財 源	円	10,688,716	9,790,936		
職員数	正 規 職 員	人	1.5	2.0		
	会計年度任用職員	人				
	合　　計	人	1.5	2.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【情報】原村地域防災計画は、長野県地域防災計画と整合を図り策定しており、県計画が令和3年12月に修正されたため、村計画は令和4年度に修正することから未実施となりました。出前講座では、新たな避難情報やコロナ対策等周知することができた。 【環境】県との連携により、耐震診断士の派遣及び耐震改修に対する補助を実施した。		【情報】令和3年12月に長野県地域防災計画の修正が行われ、それに伴い原村の地域防災計画も修正を行った。出前講座では、災害発生時における各地区との災害通信手段としての無線の取扱いや、コロナ対策などの周知を行った。また。中学校家庭科において避難所設営に関する授業を行うとのことで、家庭科教諭に原村で起こりうる災害について講義した。 【環境】県との連携により、耐震診断士の派遣及び耐震改修に対する補助を実施した。今年度は診断のみ利用があった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【情報】長野県地域防災計画と整合を図り、原村地域防災計画の修正を行う。引き続き、出前講座を行い、地域防災力の向上を推進する。 【環境】引き続き県と連携しながら支援をしていく。		【情報】長野県地域防災計画と整合を図り、原村地域防災計画の修正を行う。また各区等からの要望による出前講座の回数を増やし、地域防災力の向上を推進する。 【環境】引き続き県と連携しながら支援をしていく。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-7-4	担当部署	建設水道課（建設係）・消防室

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第7項安心して暮らせる村づくり
施策名	**4　地域安全体制の確立**
めざす姿	●警察や防犯指導員等の協力により、地域安全活動の推進を図るとともに、地域ニーズに即した防犯灯の設置を推進し、広報活動や防火・防犯パトロールなどを通じ、地域安全意識の高揚に努めます。 ●「原村安全なまちづくり条例」に基づき、住民一人ひとりに地域の安全を考えてもらい、防犯意識の高揚、醸成を図ります。 ●保護者、学校、地域が連携し、子どもを犯罪から守ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 防犯灯の設置等の推進	100%	100%	100%			実施中
② 地域安全活動の推進	100%	100%	100%			実施中
③【戦略】交通安全に関する啓発	100%	100%	100%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
街頭広報	年4回	年4回	年4回	年4回	年4回			○
緊急メールの登録者数（防犯）	839人	2,000人	1,055人	1,092人	1,092人			○

貢献するSDGs目標

3	11	16	17					
健康福祉	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	869,200	800,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	869,200	800,000		
職員数	正規職員	人	2.3	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	2.3	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	A	評価		評価	
	【建設・A】関係機関と連携し、交通安全意識の高揚を図っている。 【消防・B】① 防犯灯設置の推進 補助金申請されたものについては、すべて補助金を支出している。 ② 地域安全活動の推進 街頭広報はコロナウイルスの影響で未実施。		【建設】関係機関と連携し、交通安全意識の高揚を図っている。 【消防】① 防犯灯設置の推進 補助金申請されたものについては、すべて補助金を支出している。 ②地域安全活動の推進 地域安全運動に合わせた街頭広報、年金支給日にATM前での詐欺被害防止啓発活動を実施。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【建設】学校・PTA・安協等と連携し、交通安全教育を推進していく。 【消防】① 防犯灯設置の推進 今後も継続して行く。 ② 地域安全活動の推進 今後も継続して行く。		【建設】学校・PTA・安協等と連携し、交通安全教育を推進していく。 【消防】① 防犯灯設置の推進 今後も継続して行く。 ② 地域安全活動の推進 今後も継続して行く。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-7-5	担当部署	建設水道課（建設係）・総務課（情報防災係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第7項安心して暮らせる村づくり
施策名	**5　治山事業と河川改修の推進**
めざす姿	●地球温暖化が進展し、極端な大雨や強度な台風の頻度の増大、激甚化が懸念されています。危険箇所の把握と河川管理に努めながら、洪水時における災害箇所については、迅速かつ的確に復旧事業に取り組みます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 危険箇所の把握と出水後のパトロールの実施	100%	100%	100%			実施済
② 地災害発生後の迅速かつ的確な災害復旧への取組み	0%	100%	100%			実施中
③ 住民からの情報提供		100%	100%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
危険箇所の把握	年1回	年2回		年1回	年1回			○
【戦略】危険箇所のパトロールの実施	実施	実施	実施	実施	実施			◎
【戦略】災害発生後の迅速な取組	実施	実施	実施	実施	実施			○

貢献するSDGs目標

11	13							
持続可能都市	気候変動							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	1,793,000	264,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,793,000	264,000		
職員数	正規職員	人	0.3	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.3	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	【建設】大雨があった際村内を巡回し、復旧な必要な個所を取りまとめ、早期の復旧を行った。 【情報】村内危険箇所パトロールを実施し、庁内及び諏訪建設事務所と共有することができた。		【建設】大きな被害はなかったが雨により道路清掃を要する事案があり、早期に復旧を行った。 【情報】村内危険箇所パトロールを実施し、庁内及び諏訪建設事務所と共有することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【建設】災害時には状況把握に努め、迅速に機能回復を行う。 【情報】村内危険箇所パトロールを実施するとともに、これまで点検を実施していない危険箇所についても調査を検討する。		【建設】災害時には状況把握に努め、迅速に機能回復を行う。 【情報】村内危険箇所パトロールを実施するとともに、これまで点検を実施していない危険箇所についても調査を検討する。また、今まで経過観察としたエリアについても日々注視が必要。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-7-6	担当部署	住民財務課（住民係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第7項安心して暮らせる村づくり
施策名	**6　消費生活の安全と向上**
めざす姿	●高齢者が特殊詐欺被害にあわないよう啓発活動を推進します。 ●消費者の利益を保護するためより速い情報提供に努めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 消費生活情報の提供		100%	100%			実施中
② 消費者組織や消費生活サポーターの育成及び「見守り」活動の推進		0%	0%			未実施
③ 消費生活相談体制の確立		100%	100%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
消費生活サポーターの登録者数	7人	10人		7人	7人			×

貢献するSDGs目標

1	10	11	16	17				
貧困	平等	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	351,731	407,558		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円	175,000	203,000		
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	176,731	204,558		
職員数	正規職員	人	0.1	0.1		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	茅野市に消費生活センターがあり、本村、茅野市、富士見町の広域設置となっている。相談員が常駐しており安心して相談できている。 相談件数25件		茅野市に消費生活センターがあり、本村、茅野市、富士見町の広域設置となっている。相談員が常駐しており安心して相談できている。 相談件数25件					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	消費生活センターの広域設置を継続していく。		消費生活センターの広域設置を継続していく。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	1-7-7	担当部署	住民財務課（住民係）・保健福祉課（福祉係）

節	第1節人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり
項	第7項安心して暮らせる村づくり
施策名	**7　住民相談の充実**
めざす姿	●国、県等の専門機関との連携を強化し、各種相談体制の周知や人権意識の高揚のため学校・地域・職場等のあらゆる場や機会を通じて啓発活動を推進するとともに、相談体制の充実を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 相談体制の充実		100%	100%			実施中
② 広報、啓発活動		100%	100%			実施中
③ 心配ごと相談体制の充実		10%	10%			未実施
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
無料法律相談の平均相談件数	4件／回	5件／回		4.16件／回	5.5件／回			◎

貢献するSDGs目標

1	5	11	16	17				
貧困	ジェンダー	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	254,000	254,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	254,000	254,000		
職員数	正規職員	人	0.1	0.1		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	【住民・B】年3回の人権相談、年1回の行政相談を実施。広報はらや有線放送で周知しているが、利用者が少ないのが現状。年6回の法律相談は予約制で広報はらや有線放送で広報しているが、満員の回はなかった。相談希望者が少ないのが現状。 【福祉・E】社協が実施する心配事相談については、民生児童委員の中から相談員をお願いしているが、コロナの影響で中止となっている。相談員から会場や開催方法について検討の必要があると要望を受けているとのこと。		【住民・B】年3回の人権相談、年1回の行政相談を実施。広報はらや有線放送で周知しているが、利用者が少ないのが現状。年6回の法律相談は予約制で広報はらや有線放送で広報している。満員の回もあった。昨年に比べ、希望者が増加した。 【福祉・E】社協が実施する心配ごと相談については、民生児童委員の中から相談員をお願いしているが、コロナの影響で中止となっている。会場や開催方法について検討の必要がある。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【住民】弁護士による無料法律相談、人権擁護委員による人権相談、行政相談委員による行政相談の場を継続して設けていく。		【住民】弁護士による無料法律相談、人権擁護委員による人権相談、行政相談委員による行政相談の場を継続して設けていく。 【福祉】心配ごと相談については、重層的支援体制整備移行準備事業の相談体制の検討と併せて考えていく。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-1-1	担当部署	生涯学習課（生涯学習係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第1項生涯学習の体系化と機会の充実
施策名	**1生涯学習機会の提供と支援**
めざす姿	●住民の学習意欲に応じた各種講座、学級等の事業実施や、各種学習グループの育成に努めるとともに学習活動の継続を支援し、生活文化や教養の向上をめざします。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 住民ニーズに応じた講座、学級の開設	80%	80%	80%			実施中
② 学習成果の継続支援	60%	60%	60%			実施中
③【戦略】村づくり生涯学習推進体制の充実	40%	40%	40%			実施中
④【戦略】学習の成果を活かせる機会の提供	40%	40%	40%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
公民館講座・学級開設	20講座・3学級	20講座・3学級	21講座・3学級	21講座・3学級	21講座・3学級			◎
【戦略】生涯学習ボランティア登録制度	なし	開設	2	2	0			△

貢献するSDGs目標

4								
教育								

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	1,835,335	1,952,873		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,835,335	1,952,873		
職員数	正規職員	人	0.6	0.6		
	会計年度任用職員	人	0.5	0.5		
	合計	人	1.1	1.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、公民館の臨時休館、公民館講座の延期又は中止を行いましたが、概ね計画されていた講座を開催することができた。		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、いくつかの講座が中止となったが、概ね計画されていた講座を開催することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を把握しながら、計画されている講座等の行事を開催していく。		感染症対策を講じながら、計画されている講座等の行事を開催していく。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-1-2	担当部署	生涯学習課（図書館係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第1項生涯学習の体系化と機会の充実
施策名	**2図書館施設の充実と利用促進**
めざす姿	●諏訪地域6市町村、長野県内及び北杜市の図書館による図書資料の相互貸借し、利用者が求める情報提供の充実を図ります。 ●読書ボランティアグループ、子ども読書ボランティアグループの育成を図り、住民が図書館運営に参画し、子どもが子どもを育てる体制づくりを目指しています。 ●特色ある図書館運営に努め、利用者の知識欲を満たす雑誌等を重点的に収集するよう努めます。 ●小中学校との連携を図りながら、資料の購入調整、有効利用及び読書推進を図ります。 ●施設整備により多様な蔵書を収蔵するとともに、居場所としての閲覧席を整備します。 ●生涯学習施設として学習成果を発揮できる機会を創出するとともに、地域産業の発展を支援し、人づくり・地域づくりに努めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 図書館の施設・環境の整備（幅広い資料の収集、ネットワークの充実、居心地の良い環境づくり）	60%	70%	90%			実施中
② 諏訪広域図書館情報ネットワークシステムの充実及び定住自立圏との連携	60%	80%	90%			実施中
③ 国立国会図書館及び県立図書館を利用した読書機会の充実	40%	40%	50%			実施中
④ 図書館サービスの充実	60%	60%	70%			実施中
⑤ ボランティアグループとの協働	40%	40%	50%			実施中
⑥ 図書館利用のPR活動		40%	50%			実施中
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
住民一人当たり年間貸出数	14.8冊	15.3冊	14.4冊	12.5冊	13.8冊			△

貢献するSDGs目標

4	11	17						
教育	持続可能都市	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	19,521,311	21,035,231		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	17,660	12,450		
	一般財源	円	19,503,651	21,022,781		
職員数	正規職員	人	1.3	2.0		
	会計年度任用職員	人	5.0	5.0		
	合計	人	6.3	7.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	新型コロナ感染症対策として長期の休館を行った。 影響により、児童・生徒の利用が減少し、全体の貸出し数が落ち込んでしまったが、来館しなくても本の予約ができる諏訪広域図書館情報ネットワークの促進により、インターネットからの予約件数が伸び、図書館滞在時間が短くても利用者へのサービス低下は最小限に抑えることができた。		昨年に引き続き新型コロナ対策による館内衛生状況については徹底して行った。緩和傾向にあったため、おはなし会等のイベントは計画どおり行ったが、利用者の考え方の変更と思われるが、参加数は減っている。図書館まつりも含めて、いかに図書館に足を運んでいただけるか検討をしなければならないと感じている。 その代わり、インターネット(すわズラー等)を利用した貸出しが増えてきているため、その需要やサービスに答えられるようにしていきたい。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**拡大**	今後の方針		今後の方針	
	電子図書館がスタートすることで、本に親しむ機会を増やし、住民が図書館運営に参画し、利用者の増を見込む。ボランティアグループの積極的な参加を求めたい。		インターネットによる図書館利用が増える中、いかにリアル図書館へ足を運んでもらえるか、図書館で開催するイベントも含めて、新しい試みを検討実践するため、住民から意見募集を行いたいと考えている。また若い人の図書館ボランティアへの参加について方法を考えたい。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-1-3	担当部署	生涯学習課（生涯学習係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第1項生涯学習の体系化と機会の充実
施策名	**3村づくりを担う人材の育成**
めざす姿	●学習成果を生かせる人材の育成 自らが学びによって得た成果を社会に還元していくことも生涯学習の重要な役割です。 社会教育で学んだ成果を生かしつつ、各分野において能力、特技を持っている方の発掘を行い、既存の社会教育等の指導者も含め、ボランティアの精神をもって学校教育や地域づくりの学びの場で指導者的活動ができる人材の確保に努めます。 また、様々な学習活動への企画調整を行うコーディネート機能を確立する取組みを図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 各分野での特技・能力を持った人材の発掘	0%	30%	0%			実施中
② 優れた人材の村づくりへの活用	0%	30%	0%			実施中
③ 住民の要望に応じたコーディネート機能の推進		0%	0%			検討中
④【戦略】社会教育の場で指導者的活動ができる人材の発掘と養成	0%	20%	30%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
生涯学習指導ボランティア登録者数	0人	5人	0人	2人	0人			△

貢献するSDGs目標

4	5	17						
教育	ジェンダー	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.3	0.3		
	会計年度任用職員	人	0.1	0.1		
	合計	人	0.4	0.4		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	D	評価		評価	
	過去の公民館講座のリストのデータ化及び地区館長等への地域の特技をお持ちの方の紹介依頼、広報はらへの募集記事の掲載を行った。新たな人材の確保は、難しい状況となっている。		過去の公民館講座のリストのデータ化及び地区館長等への地域の特技をお持ちの方の紹介依頼等を行った。新たな人材の確保は、難しい状況となっている。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**見直し**	今後の方針		今後の方針	
	今後も地域の人材確保のため、募集を行っていく。		多様な学びの充実を図るため、特技や知識を地域に還元してくれる個人や団体を発掘するため、新たに「原村生涯学習リーダーバンク」の登録者をLOGOフォーム等により募集する。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 D	D

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-1-4	担当部署	生涯学習課（生涯学習係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第1項生涯学習の体系化と機会の充実
施策名	**4社会教育関係団体の支援・育成・施設の活用**
めざす姿	●各種団体の地域での活動や社会参加の促進、文化協会の育成を図り、学習資料や学習情報の提供を行うとともに、住民、地域と協働し学習環境の向上に努めます。 ●中央公民館の講座等から受講者による公民館利用登録団体の立ち上げを図り、自主グループとしての活動が活発になるよう後継者育成も含め支援を行います。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 学習場所の提供や学習資料・学習情報の提供	60%	80%	80%			実施中
② 地域活動・社会参加の促進	40%	40%	50%			実施中
③ 地区館・分館活動の活性化	20%	20%	30%			実施中
④ 文化協会の育成・支援	60%	60%	60%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
公民館利用登録団体数	72団体	77団体	73団体	73団体	70団体			△

貢献するSDGs目標

4	11	17						
教育	持続可能都市	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	140,000	157,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	140,000	157,000		
職員数	正規職員	人	0.6	0.6		
	会計年度任用職員	人	0.3	0.3		
	合計	人	0.9	0.9		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の影響により、地区館・分館活動が難しい状況となっている。文化協会については、文化祭の芸能フェスティバルを開催することができた。		コロナ禍ではあったが、団体や事業の活動が再開される様子が見られ、文化協会については、今年度も文化祭の芸能フェスティバルを開催することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を確認しながら、団体の育成に努めていきます。		感染症防止対策を講じつつ、団体の育成に努めていきます。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-1-5	担当部署	生涯学習課（生涯学習係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第1項生涯学習の体系化と機会の充実
施策名	**5生涯学習・社会教育施設の充実**
めざす姿	●中央公民館建物の延命と利用者のニーズに対応した安全で利用しやすい施設づくりを行います。 ●各地区公民館分館等の安全面と利便性を考慮した施設づくりを支援します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 中央公民館の改修や維持補修による利便性の向上	80%	80%	80%			実施中
② 公民館分館等の施設整備に対する支援	20%	20%	20%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
中央公民館の年間利用者数	30,000人	31,000人	23,497人	22,715人	25,195人			△

貢献するSDGs目標

4	11	17						
教育	持続可能都市	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	3,984,440	3,411,392		
財源内訳	国庫支出金	円	3,916,440			
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	68,000	3,411,392		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.5	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	分館施設整備として、柳沢分館のトイレ改修の補助を実施。緊急経済対策事業として、中央公民館のwifi設備の設置を行い、公民館利用者の利便性を図った。オンライン機器を導入し、文化祭、成人式等でライブ配信を実施しました。		分館施設整備は、判之木分館のトイレ改修の補助を実施。感染防止対策事業として、中央公民館のWeb配信機器を導入し、公民館利用者の利便性を図った。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、利用者が減少しているため、以前の30,000人台に増加していくよう、利用拡大に努める。		感染症対策を講じたうえでの活動が活発になってきており、利用者数は回復傾向。目標値の達成に向けて、更なる利用拡大に努める。また、会場に足を運べない方のために、二十歳を祝う式等、催し物のライブ配信にも力を注いでいく。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-1-6	担当部署	生涯学習課（生涯学習係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第1項生涯学習の体系化と機会の充実
施策名	**6家庭教育の充実**
めざす姿	●家庭教育は家族が子どもに対して行う教育で、子育ての基本であり原点です。子どもの基本的な生活習慣や豊かな情操、善悪の判断を身に着けることは家庭教育の重要な役割です。これらの家庭教育の機能を回復させるため、子どもを取り巻くあらゆる機関が連携と統一的な意識をもって家庭教育の充実をめざします。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 学習機会の提供	40%	50%	50%			実施中
② 情報提供による啓発活動の推進	40%	50%	50%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
家庭教育学級・講演会の年間開催数	18回	20回	13回	10回	13回			△

貢献するSDGs目標

3	4	5	16	17				
健康福祉	教育	ジェンダー	平和公正	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	1,835,335	1,952,873		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,835,335	1,952,873		
職員数	正規職員	人	0.6	0.6		
	会計年度任用職員	人	0.3	0.3		
	合計	人	0.9	0.9		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、公民館の臨時休館、公民館講座の延期又は中止を行いましたが、概ね計画されていた講座を開催することができた。		感染症対策を講じながら、概ね計画されていた講座を開催することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	原村ホームページにより、今後も事前に講座の案内を行っていき、学習機会の提供を図る。		原村ホームページ等により、今後も事前に講座の案内を行っていき、学習機会の提供を図る。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-1-7	担当部署	生涯学習課（生涯学習係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第1項生涯学習の体系化と機会の充実
施策名	**7地域に育つ子どもたち**
めざす姿	●家庭や地域社会の教育機能を回復することにより、青少年に関係するあらゆる機関や高齢者・大人が連携をとり、青少年を見守り育てる地域社会を目指します。 ●青少年が地域社会において様々な人々とふれあう機会が持てるよう、体験型の学習活動を活用します。 ●関係機関の連携のもと青少年の非行を生まない地域づくりを図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 地域ぐるみの地区子ども会育成活動の活性化	40%	80%	80%			実施中
② 安全安心な子どもの居場所や環境づくり	40%	50%	50%			実施中
③ 各種機関の連携による体験型学習の充実	40%	60%	60%			実施中
④ 青少年の住みやすい健全な環境を守るための啓発活動	20%	40%	40%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
連携による体験型学習年間開催数	16回	17回	13回	9回	10回			△

貢献するSDGs目標

3	4	5	17					
健康福祉	教育	ジェンダー	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	280,602	271,976		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	280,602	271,976		
職員数	正規職員	人	0.6	0.6		
	会計年度任用職員	人	0.3	0.3		
	合計	人	0.9	0.9		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	今年度は、地区子ども会の活動は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、活動が令和2年度より活発に行われました。		地区子ども会の活動は、新型コロナウイルス感染症対策による内容の規制はありましたが、各地区で活発に行われました。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	令和4年度も、子どもたちの活動を支援しながら、事業を継続していく。		子どもたちの活動を支援しながら、事業を継続していく。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-2-1	担当部署	子ども課（教育総務係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第2項豊かな人間形成をめざした教育の推進
施策名	**1学校施設の整備充実**
めざす姿	●学校施設は老朽化が進んでいるが、適時適切な改修・維持管理に努め児童・生徒が安全・安心して楽しく快適に学べる施設・環境整備に努めます。 ●空き教室の有効活用等を図り、児童・生徒にとって必要な図書や教材、教具等の計画的な教育環境の整備充実を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 小・中学校校舎の長寿命化のための維持・改修工事	80%	90%	90%			概ね実施済
② 小・中学校環境整備	0%	0%	0%			検討中
③ 中学校プール跡地利用の検討	0%	0%	0%			検討中
④ 小・中学校のICT環境の整備、図書や教材、教具等の整備充実	100%	100%	100%			実施済
⑤【戦略】小・中学校校舎建て替えの検討	0%	0%	0%			検討中
⑥【戦略】教員住宅の後利用検討	20%	20%	90%			概ね実施済
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
中学校プールの除却及び跡地利用の検討	中学校プール廃止決定（R1）	利用方法の決定	検討中	検討中	検討中			△

貢献するSDGs目標

1	4	7	9	12				
貧困	教育	エネルギー	産業基盤	消費生産				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	9,339,000	8,008,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円	8,400,000	7,200,000		
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,739,000	808,000		
職員数	正規職員	人	1.0	1.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	学校施設の長寿命化並びに小・中学校のICT環境の整備化ということでタブレット端末・大型モニター等のICT化が図れた。 中学生のプールについては、施設の除却と跡地の利用について再度、財政面も考え検討していく。		教員住宅の後利用について、子ども・子育て支援センター建設により利用を図れた。 中学生のプールについては、施設の除却と跡地の利用について再度、財政面も考え検討していく。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	中学生のプール跡地利用については、施設の除却費用を基に財政面も含め検討していく。 教員住宅の後利用については、R4年度に子育て支援センター建設に伴い撤去を行うため改善される予定。		中学生のプール跡地利用については、施設の除却費用を基に財政面も含め検討していく。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	B
前年度評価 C	

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-2-2	担当部署	子ども課（教育総務係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第2項豊かな人間形成をめざした教育の推進
施策名	**2教育内容・方法の改善充実**
めざす姿	●共通の子ども観に立ち、子どもの可能性を引き出す環境づくりを推進し、生きて働く知識・技能を習得し、未知なることにも思考・判断・表現して向き合い、よりよい生き方を探究し続ける子どもの育成を図ります。 ●全教育活動を通して、道徳・人権教育、特別支援教育、ICT教育等の充実を図り、将来を担う人間性豊かな人材育成を目指します。 ●幼児段階から外国語に親しむ環境を整備し、国際交流の場を継続しながら、日本のみならず国際社会で広く活躍できる人材の育成を目指します。 ●「ふるさと原村」の文化・伝統・くらし等を深く学び、よりよくしていこうとする資質を育む教育を通じて、子どもたちの郷土愛を深めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 職員一人あたりの担当子ども数を少なくすることによるきめ細かな教育の推進		100%	100%			実施済
② 外国語教育・国際理解教育の推進		80%	90%			概ね実施済
③ 総合的な学習の時間・道徳・特別活動の支援	80%	80%	80%			概ね実施済
④ 教職員の資質向上への支援	20%	50%	70%			実施中
⑤ 幼保小連携・小中一貫教育の強化		50%	70%			実施中
⑥ ICT教育の推進	100%	100%	100%			実施済
⑦ 特別支援教育の充実	80%	90%	90%			概ね実施済
⑧ 地域学習「原村学」の推進		80%	90%			概ね実施済
⑨【戦略】ALT及び支援員の充実による外国語教育の推進	100%	100%	100%			実施済
⑩【戦略】国際教育の推進	40%	50%	60%			実施中
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
小中学校の村費教職員の配置	中学校2人	小中学校3人		小中学校3人	小中学校3人			◎
【戦略】中間教室の設置、指導員の設置	指導員兼任2人	専用教室の設置、専任指導員1人	指導員1人 指導員兼任2人	指導員1人 指導員兼任2人	指導員1人 指導員兼任2人			◎

貢献するSDGs目標

1	4	5	10	12	13	14	15	16
貧困	教育	ジェンダー	平等	消費生産	気候変動	海洋資源	自然保護	平和公正

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人				
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.0	0.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	小学校に英語科講師を配置することができた。英語及び外国語活動の専科担当として、また小中一貫教育におけるカリキュラム作成のモデル作りに取り組み始めた。 幼保小連携・小中一貫教育に着手できたので、実践化への支援を強化したい		小学校に村費の英語科講師を配置することにより、英語及び外国語活動並びに小中一貫教育におけるカリキュラム作成のモデル作りに取り組むことができた。 幼保小連携・小中一貫教育に着手できたので、今後も実践化への支援を強化したい					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	拡大	今後の方針	拡大	今後の方針		今後の方針	
	原村教育研究会の回数増及び質の向上を目指し、年2回を3回に増やす予定。保育園、小中学校でそれぞれ開催し、子どもの受け止め方についてさらに研修を深める。		原村教育研究会の回数増及び質の向上を目指し、今後も年2回を3回に増やす予定。保育園、小中学校でそれぞれ開催し、子どもの受け止め方についてさらに研修を深める。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 A	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-2-3	担当部署	子ども課（教育総務係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第2項豊かな人間形成をめざした教育の推進
施策名	**3地域社会との連携による教育の充実**
めざす姿	●学校・家庭・地域が連携し、心豊かな児童・生徒の育成が図られるよう、地域に開かれ信頼される学校づくりを目指します。 ●地域・家庭との連携を深め、地域体験学習等を通してふるさとを知り、郷土を理解し郷土を愛する教育の充実により、ふるさとに誇りと愛着の持てる子どもの育成を図ります。 ●児童生徒が充実感や自己有用感を感じられる教育活動を展開し、自己肯定感を高めることにより生きる力の育成を図ります。 ●地域との連携と協力により子どもが外で遊ぶ機会を増やします。 ●地元食材を使用した学校給食の食育活動を推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 学校評議員会・コミュニティースクールの充実		0%	0%			中　止
② 小中学校ホームページの更新、学校便り・学級通信の充実		0%	50%			検討中
③ 地域公開参観週間の実施		0%	0%			中　止
④ 地域人材の学校教育への活用支援		0%	0%			中　止
⑤ あいさつ運動の展開		0%	0%			中　止
⑥ 放課後における子どもの自主的活動への支援（放課後子ども教室の充実）	80%	80%	90%			概ね実施済
⑦ 地元食材提供団体と小中学校の交流促進や地産地消事業の支援	20%	30%	30%			検討中
⑧ 地域での体験学習の推進	100%	100%	100%			実施済
⑨【戦略】教育ボランティアの発掘と活用の推進	20%	60%	60%			実施中
⑩【戦略】奨学金制度の見直しと推進	100%	100%	100%			実施済
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
自己有用感の充実（全国学習状況調査等により）	61.3%（R1）	70%	調査未実施	76.1%	67.6%			◎

貢献するSDGs目標

1	2	4	5	10	12	14	15	16
貧困	飢餓	教育	ジェンダー	平等	消費生産	海洋資源	自然保護	平和公正

費用と職員の状況

項　目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事　業　費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県 支 出 金	円				
	地　方　債	円				
	その他特財	円				
	一 般 財 源	円				
職員数	正 規 職 員	人				
	会計年度任用職員	人				
	合　　計	人	0.0	0.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	原村学においては、ふるさと原村を深く理解し、ふるさとへの思いや原村の発展に貢献したいという願いを高めるべく実践が積み重ねられている。成果は、5年後にどのような形になるかを見極めていく。		原村学においては、ふるさと原村を深く理解し、ふるさとへの思いや原村の発展に貢献したいという願いを高めるべく実践が積み重ねられている。成果は、5年後にどのような形になるかを見極めていく。原村学に関わる経費について、令和5年度の予算化を進めていく。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	拡大	今後の方針	拡大	今後の方針		今後の方針	
	コミュニティスクール（CS）の整備・充実が進んでいる。CSコーディネーターの配置を含め、新型コロナウィルス感染症の影響を受けていた学校応援団の実働化を進めていく。		コミュニティスクール（CS）の整備・充実が進んでいることに伴い、現在の学校評議員会から信州型コミュニティスクール（学校運営協議会）へ拡充していく。制度策定に向けて進めていく。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-2-4	担当部署	子ども課（教育総務係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第2項豊かな人間形成をめざした教育の推進
施策名	**4幼保小連携・小中一貫教育における各教育機関との連携強化**
めざす姿	●幼保小連携・小中一貫教育を推進し、子どもの持つ無限の可能性を開花させるような環境づくりに取り組みます。 ●一人ひとりの児童・生徒に自立と社会参加を見据えた共生社会をめざす教育・保育を推進し、教育のユニバーサルデザインに基づくインクルーシブ教育システム（障がいのあるなしに関わらず、共に学ぶ教育）に基づいた多様で柔軟な連続性のある学びの場を用意し、個人に必要とされる合理的配慮が提供されることを目指します。 ●「主体的・対話的で深い学び」の具現に向け、質の高い教育の実践を図り、将来を担う人材育成を目指します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 園児と児童・生徒の交流教育の推進	80%	80%	80%			概ね実施済
② 保育士や幼稚園教諭と学校教職員との連携や交流研修の推進	40%	70%	70%			実施中
③ 発達障害の啓発、児童生徒及びその家族への相談支援、学習支援の推進	60%	70%	80%			概ね実施済
④ 保育所、小・中学校とこひつじ幼稚園、八ヶ岳中央農業実践大学校との交流促進		50%	50%			検討中
⑤ 不登校傾向児童・生徒の生活及び学習支援の充実	80%	90%	90%			概ね実施済
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
「原村教育研究会」の開催数	年2回	年3回		年0回	年0回			△

貢献するSDGs目標

4	5	10	12	16				
教育	ジェンダー	平等	消費生産	平和公正				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人				
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.0	0.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	幼保小連携・小中一貫教育のグランドデザインを策定し、校長園長会で共有を図った。コロナ禍で子供や職員の交流は難しかったが、英語科でカリキュラム作成に着手することができた。 原村中間教室の存在も定着し、ここに居場所を築く子どもが増えている。		幼保小連携・小中一貫教育のグランドデザインを策定し、校長園長会で共有を図った。コロナ禍ではあるが、子供や職員の交流は徐々実施することができた。 原村中間教室の存在も定着し、ここに居場所を築く子どもが増えている。令和5年度からは子ども子育て支援センターに設置となることで、さらなる期待がもてる。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	拡大	今後の方針	拡大	今後の方針		今後の方針	
	原村教育研究会の回数を増やす（3回に）。園小中の職員が同じ子ども観を共有し、子どもを信じて任すスタイルの保育・授業改善を進める。特に、子どもの受け止め方を高めていきたい。		今後も、原村教育研究会の回数を増やす（3回に）。園小中の職員が同じ子ども観を共有し、子どもを信じて任すスタイルの保育・授業改善を進める。特に、子どもの受け止め方を高めていきたい。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）

特記事項

前年度評価	総合評価
B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-3-1	担当部署	生涯学習課（生涯学習係・文化財係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第3項芸術文化活動と地域文化の振興
施策名	**1芸術・文化活動の充実**
めざす姿	●中央公民館事業、原村文化協会事業等を中心に文化・芸術活動の継続と活性化を図ります。 ●歴史民俗資料館（八ヶ岳美術館）は、より親しみやすく魅力ある施設を目指して周囲の自然と調和した整備を進めるとともに、村内外の芸術家等による特別展を行い、何度来ても楽しめる美術館を目指します。 ●生活様式の変化に伴い無くなりつつある、知恵の結集とも言える民俗資料を展示し、昭和30～40年代の農家の生活復元を進めている原村郷土館は、今後も資料の収集と保存活用を行っていきます。 ●年々関心が高まっている機織りの体験学習をより充実したものとし、住民参加による保存活用及び技術の伝承を図っていきます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 住民の文化・芸術活動等の発表機会と場所の充実	80%	80%	80%			概ね実施済
② 各種団体の自発的な活動推進	60%	60%	60%			概ね実施済
③ 八ヶ岳自然文化園及び歴史民俗資料館（八ヶ岳美術館）における文化・芸術の活性化と集客の促進	20%	50%	80%			概ね実施済
④ 原村郷土館における民俗資料の収集展示と体験施設としての確立	20%	40%	60%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
機織り体験の年間体験者数	200人	250人		184人	204人			△
【戦略】八ヶ岳美術館入館者数（有料入館者数）	6,317人	7,000人	3,739人	5,575人	8,505人			◎

貢献するSDGs目標

4	11							
教育	持続可能都市							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	2,805,000	5,180,295		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	2,805,000	5,180,295		
職員数	正規職員	人	0.7	0.9		
	会計年度任用職員	人	0.5	0.5		
	合計	人	1.2	1.4		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	（生涯）新型コロナ感染症の影響により、コロナ前の水準には達していないが、入館者数は昨年よりも大幅な増加となった。特に夏場は増加し、企画展が好調であった。 機織り体験も同様であるが、諏訪地域のリピーターが多く、増加傾向がみられる。 R3は文化祭芸能フェスティバルをライブ配信を活用して開催することができた。		（生涯）文化祭は昨年並みの展示を行うことができた。芸能フェスティバルは感染拡大防止対策（座席間隔を広くし、各座席の観客と連絡先を把握）を施したうえで有観客で開催することができた。 （文化）新型コロナ感染拡大期があったなか、入館者数は昨年よりも大幅に増加し、目標値を大きく上回ることができた。企画展が好調であり、ほとんどの月で昨年対比100%以上となった。 機織り体験はコロナ前の水準まで回復し、リピーターが多く、増加傾向がみられる。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	（生涯）新型コロナ感染症の感染状況を確認しながら、事業を継続して進めていきたい。 企画展やイベントの回数なども併せて検討していく。 今後も村の文化活動及び発表の場を提供できるよう努めていく。		（生涯）今後も村の文化活動及び発表の場を提供できるよう努めていく。 （文化）引続き魅力ある企画展の開催や情報発信を行い、文化芸術の普及を行っていきたい。 郷土館の機織り体験者数は200前後が頭打ちとなっているため、新規体験者を増加するための企画等の検討が必要。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）

特記事項

前年度評価	総合評価
B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-3-2	担当部署	生涯学習課（文化財係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第3項芸術文化活動と地域文化の振興
施策名	**2遺跡の保存・整備と活用**
めざす姿	●原村埋蔵文化財収蔵庫に保管している膨大な資料は、縄文時代を研究するうえで極めて貴重なものであり、整理を進め公開を図っていきます。 ●国史跡指定の阿久遺跡は、当時の自然環境（雑木林）の復元を継続するとともに、阿久遺跡の内容を示す環状集石群や立石・列石等を中心とする復元を行い、また、四季折々の草木の植栽により誰もが気軽に立寄ることができる史跡公園として再生を図ります。 ●村史跡指定の臥竜遺跡には縄文時代の復元住居があり、学習の場や憩いの場として支障がないよう環境整備を行います。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 原村埋蔵文化財収蔵庫の公開	20%	60%	80%			中　止
② 阿久遺跡における針葉樹の伐採と公園化の推進	0%	0%	20%			実施中
③「八ヶ岳縄文遺跡ベルト地帯」の発信	40%	60%	70%			実施中
④ 地域の特色ある埋蔵文化財発信		20%	60%			実施中
⑤【戦略】臥竜遺跡における住民の協力による環境整備の継続	20%	0%	0%			中　止
⑥【戦略】原村埋蔵文化財センターの建設による埋蔵文化財の公開と活用	40%	70%	80%			実施中
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
阿久遺跡間伐整備面積	2,721.2㎡（H30	2,984㎡	0㎡	0㎡	0㎡			△

貢献するSDGs目標

4	11							
教育	持続可能都市							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	30,044,912	11,787,294		
財源内訳	国庫支出金	円	6,970,000	4,596,000		
	県支出金	円	1,126,000	1,450,000		
	地方債	円				
	その他特財	円	52,400	69,200		
	一般財源	円	21,896,512	5,672,094		
職員数	正規職員	人	2.0	1.5		
	会計年度任用職員	人	8.0	6.0		
	合計	人	10.0	7.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	収蔵庫の公開は、小中学校の授業としても実施。 縄文の発信は、文化財講座、広報、各種展示を行っている。元気づくり支援金を活用したイベントや講座などを行い、周知に努めている。 文化財整理室の土地・建物の買い入れを行い、整理室での体験学習や見学を併せて実施。		収蔵庫の公開は、小中学校の授業やイベント等の期間限定公開以外にも見学希望者に対して公開を実施。 縄文の発信は、広報や各種展示に加え、元気づくり支援金を活用し、イベント・講座・スタンプラリー等を実施したことにより、認知度が上がっている。 整理室の公開や文化財教室等を実施し、公開と活用は進んでいる。 阿久遺跡の環境整備として、道路敷の枝打ち・伐採事業を実施した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	阿久遺跡の土地買い入れは、所有者が亡くなり、相続者の確認後、買い入れと間伐を実施する予定。 史跡整備については、他業務で手一杯のため、着手できていない。 臥竜遺跡の復元住居の整備は行わず、撤去する予定。今後の展示方法について検討が必要となる。		阿久遺跡の土地買い入れは、所有者が亡くなり、相続者の確認後、買い入れと間伐を実施する予定。 史跡整備については、他業務で手一杯のため、着手できていない。 収蔵庫の公開は安全面や施設の目的から小中学校の授業やイベント等の期間限定以外の公開を令和5年度から中止した。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-3-3	担当部署	生涯学習課（文化財係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第3項芸術文化活動と地域文化の振興
施策名	**3文化財の保存と活用**
めざす姿	●指定文化財のほか、鏝絵（コテエ）、裂織りなど農村に残る貴重な文化財を住民と一緒に保護・活用していきます。 ●「信玄の棒道」は、ロマンあふれる中世の歴史の道としての遊歩道整備を図ります。 ●指定文化財をはじめ、道祖神等石造文化財めぐりや鏝絵めぐりを実施します。 ●知恵の結集とも言える民俗資料を展示している原村郷土館や民俗資料展示室は、今後も収集と保存を行い、より充実したものにしていきます。 ●「ハッ手機織り保存会」による機織りのこころを伝える「裂織りの里 原村」の伝統を郷土の誇りとして、原村郷土館では住民参加による保存活用を図っていきます。 また様々なイベントを通じて、より多くの人々に本村の伝統の素晴らしさに触れてもらいます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 村指定無形民俗文化財エーヨー節及びコチャかまやせの節の伝承	0%	0%	30%			実施中
② 指定文化財をはじめ、道祖神等石造文化財に対する意識の高揚	0%	0%	10%			実施中
③ 民俗資料の収集・保存		20%	60%			実施中
④ 機織りのこころを伝える「裂織りの里 原村」のイメージを高め、住民参加による保存活用	20%	40%	60%			実施中
⑤ 原村の鏝絵の保護と活用	40%	60%	70%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
郷土館・民俗資料展示室年間入館者数	1,297人	1,400人	961人	737人	1,152人			△

貢献するSDGs目標

4	11							
教育	持続可能都市							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	638,245	716,478		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	106,705	109,590		
	一般財源	円	531,540	606,888		
職員数	正規職員	人	1.0	1.0		
	会計年度任用職員	人	2.0	2.0		
	合計	人	3.0	3.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	裂織りは、郷土館での体験や小学生を対象とした裂織り教室などを実施。体験者はリピーターが多く裂織の里のイメージは定着してきている。鏝絵は郷土館での展示、漆喰を使ったどろ団子作り教室や鏝絵巡りなどを実施。		郷土館で裂織体験や教室を実施。体験者やや増加し、イメージは定着している。郷土館入館者はコロナ禍ではあったが、回復傾向が見られる。エーヨー節やコチャかまやせの節は民謡保存会と協力して、夏に盆踊りを行い、周知を図った。石造文化財は長野日報などで掲載を行った。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	無形民俗文化財やぼろ機織りの継承については、関係団体と協力しながら進める必要があり、どんな支援ができるかを検討する必要がある。 指定文化財や石造文化財の周知に関して、広報以外にも手段を検討する必要がある。		ぼろ機織りの保存については、関係団体との検討が必要。 指定文化財や石造文化財の周知方法（HP等）を検討する必要がある。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-4-1	担当部署	生涯学習課（スポーツ係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第4項スポーツ・レクリエーション交流の推進
施策名	**1社会体育施設の充実**
めざす姿	●利用者のニーズに対応した利用しやすい施設として、維持・管理を行っていきます。 ●社会体育館を含めた社会体育施設の利便性の向上を基本としたうえで、維持補修を行い効率的な管理運営を進めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 体育施設の改修や維持補修による利便性の向上	20%	20%	20%			実施中
② 屋外施設の整備と管理によるサービスの向上	20%	20%	20%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
弓振農村広場を活用した各種スポーツ大会の開催	3件	4件		0件	0件			×
【戦略】社会体育館の利用者数	32,294人	35,000人	25,182人	26,283人	30,543人			△

貢献するSDGs目標

3	11							
健康福祉	持続可能都市							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	7,054,058	8,109,977		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	1,582,498	1,339,651		
	一般財源	円	5,471,560	6,770,326		
職員数	正規職員	人	1.0	1.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	E	評価	D	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症による休館等により、令和2年度に引き続き利用者数が振るわなかった。		昨年に引き続き新型コロナウィルス感染症の影響がみられ、開催できなかった大会等行事はあったが、利用者数の回復傾向が見えている。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	消毒、検温等の感染症対策の指導をしっかりしたうえで、体育館の利用者を増やしていきたい。		新型感染症のためできなかった大会等行事を積極的に行い、利用者数を感染症以前の水準に持っていきたい。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-4-2	担当部署	生涯学習課（スポーツ係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第4項スポーツ・レクリエーション交流の推進
施策名	**2公園や広場の有効活用**
めざす姿	●地域住民が求めている公園や広場の整備を推進します。 ●各地区の公園や広場を地域の人々の交流の場、子どもからお年寄りまで楽しめる場として活用促進します。また生涯学習、スポーツ振興等と連携した場として活用を図ります。 ●広報誌やホームページなどを通じて活用促進をPRするとともに、地区と協力して住民ニーズ意向調査を行い、有効利用を推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 公園や広場の整備	20%	20%	20%			実施中
② 広報による公園や広場の利用促進	20%	20%	20%			実施中
③ 生涯学習活動やスポーツ振興との連携による活用促進	20%	20%	20%			実施中
④ 管理の仕組みづくりと安全管理の推進	20%	20%	20%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
既存施設も含めた公園整備の検討	—	検討		未検討	未検討			×
【戦略】弓振農村広場利用者数	2,185人	2,500人	555人	798人	861人			△

貢献するSDGs目標

3	4	11	17					
健康福祉	教育	持続可能都市	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	2,780,776	1,785,002		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	381,600	186,200		
	一般財源	円	2,399,176	1,598,802		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.5	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	D	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、体育館の臨時休館、中止、利用の制限が多く利用者数が低下した。		新型コロナウイルス感染症の影響により、外に出てスポーツをしない生活が状態化してしまい、体育館以外のスポーツ施設の利用者数が横ばいである。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	感染症によりスポ協野球部など数年にわたる活動中止を余儀なくされ、部員などがほとんどいなくなってしまった部もあるので立て直しに尽力していきたい。		村民スポーツ祭り、原村野球大会、穂屋祭体育大会を開くことで、再び体を動かす楽しさを思い出してもらい利用者増につなげていきたい。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-4-3	担当部署	生涯学習課（スポーツ係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第4項スポーツ・レクリエーション交流の推進
施策名	**3生涯スポーツの普及**
めざす姿	●各種スポーツ団体の大会・競技会等を支援し、生涯スポーツの一層の発展を図ります。 ●生涯スポーツをより一層充実するために更なる普及を行い、各団体等の日常活動と大会・競技の支援を図ります。 ●健康増進のため、参加していない人がスポーツ活動へ参加できるよう、気軽にできるニュースポーツの普及に努めるとともに、住民が楽しめる種目の検討も行います。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① スポーツイベントや気軽にできるスポーツ教室等の開催	100%	30%	70%			実施中
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
社会体育館主催のスポーツイベント・教室数	27事業	33事業	0事業	6事業	14事業			○

貢献するSDGs目標

3	4	11						
健康福祉	教育	持続可能都市						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	277,626	615,412		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	277,626	615,412		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.5	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は1つのスポーツイベントしかできなかった。		令和3年度と比べ、村主催のスポーツイベントが8件開くことができ、外部のスポーツイベントに3件参加できた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	感染症予防に注力し、積極的にイベントが開催できるようにしていく。		感染症がひと段落ついた現在、できる限りイベントを開催し、スポーツ人口を呼び戻したい。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 C	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-4-4	担当部署	生涯学習課（スポーツ係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第4項スポーツ・レクリエーション交流の推進
施策名	**4社会体育団体・グループ等の育成**
めざす姿	●原村スポーツ協会の自立のため、組織強化を支援し、協力します。 ●スポーツ推進委員を中心に、ニュースポーツの普及やスポーツ行事への支援を図ります。 ●スポーツ登録団体の活動を支援します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① スポーツ協会、スポーツ推進委員やスポーツ登録団体等の組織強化	20%	80%	80%			実施中
②【戦略】スポーツ指導員の育成	20%	20%	40%			実施中
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
スポーツ登録団体登録数	31団体	40団体	29団体	33団体	35団体			○

貢献するSDGs目標

3	4	11						
健康福祉	教育	持続可能都市						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	189,360	336,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	189,360	336,000		
職員数	正規職員	人	1.0	1.0		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	登録団体については、新型コロナウイルス感染症の影響があっても順調に増えている。スポーツ指導員の育成については中学校土日部活の社会教育への移行も含めて考えていかなければならない。		登録団体については、順調に増えている。スポーツ指導審の問題については、引き続き中学校土日部活の移行問題が大きい。スポーツ協会等外部団体との連携を模索していかなければならない。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	登録団体については、感染症の影響から立ち直ってどこまで増えるか注視していきたい。スポーツ指導員については謝礼も含めた見直しを図る時期にある。		中学校の部活移行が焦点になっている。登録団体を中学生に紹介するなど検討が必要。スポーツ指導員については、あり方を見直していく必要がある。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-5-1	担当部署	総務課（企画振興係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第5項交流による地域づくり
施策名	**1地域間交流・国際交流の推進**
めざす姿	●地域間交流を活発化し、産業・教育・スポーツなど、多様な交流の中から地域づくりや文化を学び、本村の活性化を推進します。 ●国際交流を通じて、住民相互の交流を推進し、教育はもとより産業など多くの分野で交流を深めていきます。 ●国際交流を目的とする団体と連携し、外国人との交流を推進し、国際感覚を養える地域社会の形成を目指します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 沼津市戸田地区との交流	0%	0%	70%			実施中
② 地域間交流の検討	0%	0%	0%			未実施
③ 原村人づくり事業を活用した村内産業の発展と国際感覚豊かな人材の育成	0%	0%	50%			実施中
④ 外国人への支援体制の構築		0%	0%			未実施
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
村民保養施設利用奨励補助金の利用促進	14件（延51人）	20件（延80人）	0件（0人）	0件（0人）	5件（22人）			△
原村人づくり事業補助金（一般）の活用件数	1件／年	3件／年		0件／年	1件／年			△

貢献するSDGs目標

4	17							
教育	パートナーシップ							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	24,673	437,460		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	24,673	437,460		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.5	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	D	評価	B	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。		中学生海外ホームステイ事業は新型コロナの影響で派遣できなかったが、オンラインでの交流を図った。 村民保養施設利用奨励補助金は22名が利用、人づくり事業補助金は1件10人の利用があった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**見直し**	今後の方針		今後の方針	
	新型コロナウイルス感染症の状況等を勘案して事業の実施を判断していく。		人づくり事業補助金について、中学生ホームステイへの支援を除き、利用実績を踏まえて廃止を含めて検討する。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 D	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-6-1	担当部署	生涯学習課（生涯学習係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第6項男女共同参画の社会づくり
施策名	**1男女共同参画推進体制の整備**
めざす姿	●地域や職場、学校、家庭等あらゆる機会を通じ、意識啓発に取組み、学習を行い、情報提供を積極的に取り組むとともに、女性が安心して働ける環境の整備を進めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
①「原村女性団体連絡協議会」の活動支援の推進		80%	80%			実施中
② 各種研修機会への参加推進と男女共同参画基本計画の推進		80%	80%			実施中
③ 女性の社会的地位の向上		10%	10%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
原村女性団体連絡協議会の学習機会の回数	15回	18回		18回	18回			○

貢献するSDGs目標

4	5	10	16					
教育	ジェンダー	平等	平和公正					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	119,605	145,800		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	119,605	145,800		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.5	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	原村女性団体連絡協議会を中心に講演会、村長との懇談会、村議員との書面による質問等の活動及び事務局においても、講演会、映画会、文化祭においてのパネル展示等を行い、普及啓発を図りました。		原村女性団体連絡協議会を中心に講演会、村長との懇談会、村議員との書面による質問等の活動及び事務局においても、講演会、映画会、文化祭においてのパネル展示等を行い、普及啓発を図りました。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	男女共同参画の普及啓発促進のため、関係する課と連携を深めて参りたいと考えます。		男女共同参画、ジェンダーレス施策の普及啓発促進のため、関係する部署や各機関と連携を深めて参りたいと考えます。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	C
前年度評価 B	

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	2-7-1	担当部署	商工観光課（田舎暮らし推進係）

節	第2節人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり
項	第7項本村への若い人の流れをつくる村づくり
施策名	**1移住・定住促進事業**
めざす姿	●人口減少、少子高齢化対策の総合的な戦略として、本村で育った若者の定住やUターン、他の地域からの若者移住を促進します。 ●諏訪広域や八ヶ岳定住自立圏と連携して移住推進に取り組み、地域の人口確保に努めます。 ●イベントの開催やボランティア活動の活性化等により移住者と住民の交流と助け合いの場を増やします。 ●原村の自然や伝統文化、観光やイベント情報など地域の魅力を広く発信し、移住交流人口や、関係人口の増加につなげます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 田舎暮らし現地見学会の拡充	0%	0%	0%			未実施
② 若者Uターン支援事業	0%	0%	100%			未実施
③ 広域移住相談体制の構築	100%	100%	100%			実施中
④ 原村版CCRC事業	0%	0%	0%			未実施
⑤ 村の魅力の再発見事業	60%	0%	100%			未実施
⑥ 地域おこし協力隊の活用	80%	80%	80%			実施中
⑦【戦略】大都市圏での移住相談会の開催	0%	80%	80%			実施中
⑧【戦略】原村移住体験・交流施設の利用促進	0%	0%	0%			未実施
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
移住促進事業による年間移住者数	28人	30人	27人	25人	18人			○

貢献するSDGs目標

10	11	12	15					
平等	持続可能都市	消費生産	自然保護					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	977,554	755,758		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	977,554	755,758		
職員数	正規職員	人	0.6	0.6		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.6	0.6		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の影響により、移住相談会がリアル開催はできなかったが、リモートで対応するなど次年度以降につながる取り組みを行った。		本年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中での取り組みであったが、制限を受けた中でもできることを実施してきた（Uターン事業、魅力再発見事業）。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催方法を検討していく。		体験住宅の利用や、現地見学会などを順次再開していく。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-1-1	担当部署	保健福祉課（健康づくり係）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第1項地域で支え合い健やかに生きる
施策名	**1健康づくりの推進**
めざす姿	●こころも体もいきいきと暮らせるよう健康寿命（健康で自立した生活ができる期間）の延伸を目指します。 ●「自分の健康は自分でつくる」ことを基本とし、住民主体の健康づくりの活動を支援し、生活習慣病の発症予防と重症化予防を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 各種健診・検診の受診率向上	80%	80%	80%			実施中
② 乳幼児期からの正しい食生活の普及	80%	80%	80%			実施中
③ 運動の機会の提供と環境整備	60%	60%	60%			実施中
④ こころの病気を理解しあえる地域づくりの推進	100%	100%	100%			実施中
⑤ 喫煙・飲酒の健康被害の知識の普及	100%	100%	100%			実施中
⑥ 歯科知識の普及啓発	100%	100%	100%			実施中
⑦ 住民主体の健康づくりの推進	60%	60%	60%			実施中
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
特定健診受診率	42.1%	60.0%	42.1%	36.9%（R2）	39.2%（R3）			△
【戦略】春夏秋冬健康チャレンジ	年4回（R1）	年4回	年2回	0回	4回			○
【戦略】こころの健康講演会	年1回（R1）	年2回	年1回	年1回	年1回			○

貢献するSDGs目標

1	2	3	4	5	12			
貧困	飢餓	健康福祉	教育	ジェンダー	消費生産			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	16,731,343	15,961,612		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円	229,000	507,000		
	地方債	円				
	その他特財	円	1,115,196	1,101,750		
	一般財源	円	15,387,147	14,355,422		
職員数	正規職員	人	1.5	1.5		
	会計年度任用職員	人	2.0	2.0		
	合計	人	3.5	3.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	特定健診については、年3回の受診勧奨を実施したが、コロナ禍における健診受診控え等により成果を得るまでに至らなかった。 コロナウイルス感染拡大により春夏秋冬健康チャレンジは中止となった。 こころの健康講演会については感染対策をとり実施することができた。		特定健診については、前年度より健診受診率が持ち直したものの、コロナ禍前の健診受診率に回復するには至らなかった。 春夏秋冬健康チャレンジは感染対策をとりながら4回すべて実施することが出来た。 乳幼児健診では感染対策をとりながら健診を実施し、月齢に応じた支援に努めた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	各種健診について年代層や過去の受診歴等確認しながら、受診勧奨を実施する。 コロナウイルス感染状況に応じ、感染拡大防止策をとり春夏秋冬健康チャレンジを開催する。		各種健診について年代層や過去の受診歴等確認しながら、受診勧奨を実施する。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 **B**	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-1-2	担当部署	保健福祉課（健康づくり係・診療所）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第1項地域で支え合い健やかに生きる
施策名	**2地域医療の充実**
めざす姿	●病院と診療所の連携を強化し、医療体制の充実を図ります。 ●医療だけでなく、保健・福祉・介護サービスを一体的に提供する地域包括ケアの推進を図ります。 ●村内医療機関において地域に密着した医療を提供し、住民の健康増進に取組みます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 医療機関相互の連携による医療体制の充実	100%	100%	100%			実施中
② 地域包括医療の推進	100%	100%	100%			実施中
③ 地域に密着した医療の提供	100%	100%	100%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
地域包括医療推進協議会の開催	年4回	年5回	年4回	年4回	年4回			○

貢献するSDGs目標

1	3	10	17					
貧困	健康福祉	平等	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	108,106,292	199,648,368		
財源内訳	国庫支出金	円	429,000	255,000		
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	1,402,990	9,488,600		
	一般財源	円	106,274,302	189,904,768		
職員数	正規職員	人	4.3	0.3		
	会計年度任用職員	人	2.7			
	合計	人	7.0	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【健康・C】地域包括医療推進協議会では医師会、歯科医師会等構成機関の代表より村の保健事業等についてご意見・ご助言をいただくことができた。 【診療所・A】諏訪中央病院、富士見高原病院、リバーサイドクリニックの協力を得て、二診体制の構築が図られ、医療体制を充実することができた。		【健康・C】地域包括医療推進協議会では医師会、歯科医師会等構成機関の代表より村の保健事業等についてご意見・ご助言をいただくことができた。 【診療所・A】諏訪中央病院、富士見高原病院。リバーサイドクリニックの協力を得て、二診体制の構築が図られ、医療体制を充実することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【健康・診療所】継続して実施していく		【健康・診療所】継続して実施していく					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-2-1	担当部署	保健福祉課（福祉係）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第2項きめ細やかな高齢者福祉の推進
施策名	**1在宅生活を継続するための支援**
めざす姿	●地域包括支援センターが中心となり、できる限り住み慣れた自宅や地域で安心して生活できるように、医療・介護・生活支援等が一体的に提供できるよう地域包括ケアシステムの構築を推進します。 ●安心と自立した生活を継続できるように、高齢者のニーズに合わせて必要な介護サービスや生活支援サービスの質と量が確保できるように努めます。 ●住民同士の支え合い、助け合いのネットワークづくりを進めます。 ●認知症高齢者が医療・介護・福祉の連携や地域住民の理解や協力による支援を受けながら住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 生活支援サービスの充実	80%	90%	90%			実施中
② 地域包括支援センターの機能強化	80%	90%	90%			実施中
③ 地域の支え合いネットワークづくりの推進	80%	80%	80%			実施中
④ 認知症高齢者支援の推進	80%	80%	80%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
認知症サポーター登録人数	467人	550人	570人	570人	570人			◎

貢献するSDGs目標

1	2	3	4	5	9	10	11	16
貧困	飢餓	健康福祉	教育	ジェンダー	産業基盤	平等	持続可能都市	平和公正
17								
パートナーシップ								

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	91,927,125	94,963,548		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	15,527,000	20,747,342		
	一般財源	円	76,400,125	74,216,206		
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人		0.6		
	合計	人	0.2	0.8		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口として職員3人で月平均86件の相談を受けている。今後も相談や継続ケース等が増えることが見込まれ、業務がひっ迫することが懸念される。		【福祉】高齢者総合相談窓口である包括支援センターについて、広報はらを活用し広く住民に周知することができた。 認知症高齢者の支援については、個別のケース会議を開催し、家族や地域、関係機関と情報共有や支援について確認することができた。 令和5年度から地域包括支援センターの事務職員の配置を方向づけた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	R3に実施できなかった認知症サポーター研修の実施。 地域包括支援センターの職員分担等の見直し。		【福祉】R4に実施できなかった認知症サポーター研修の実施 高齢者おたすけマップを更新					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-2-2	担当部署	保健福祉課（健康づくり係・福祉係）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第2項きめ細やかな高齢者福祉の推進
施策名	**2高齢者の健康づくりと介護予防の推進**
めざす姿	●「健康で長生き」を目指し、生活習慣の改善に取組み、健康の維持増進を図ります。 ●高齢者ができるだけ要支援・要介護状態にならず、また、要介護状態の軽減、悪化の防止を図ります。 ●認知症対策を推進します。 ●高齢者が培ってきた知識や経験を活かし、積極的に就業や社会活動等の社会参加ができる環境づくりを進めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 健康づくりの推進	80%	80%	80%			実施中
② 介護予防の推進	80%	80%	80%			実施中
③ 認知症対策の推進	80%	80%	80%			実施中
④ 生きがいづくりの推進	80%	80%	80%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
介護予防教室延参加者数	2,216人	3,000人	570人	664人	1,862人			○

貢献するSDGs目標

1	2	3	10	11	16	17		
貧困	飢餓	健康福祉	平等	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ		

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	76,860,136	78,065,188		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円	632,000	486,000		
	地方債	円				
	その他特財	円	8,936,620	8,158,990		
	一般財源	円	67,291,516	69,420,198		
職員数	正規職員	人	0.5	0.7		
	会計年度任用職員	人	0.3	0.3		
	合計	人	0.8	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	【福祉】新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、介護予防教室等は開催方法を工夫して実施することができた。		【福祉】高齢者実態調査としてフレイルチェックを実施し、その結果を基に個別にフレイル予防のアドバイスを行った。 併せて、高齢者のボランティア活動への参加意向を調査し、ボランティア活動へつないだ。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【福祉】認知症初期集中支援チームの人員確保やオレンジサポーター研修の開催について検討していく。		【福祉】一般介護予防教室については、参加者を増やしていくため、男性も参加しやすいような教室の開催を検討していく。 認知症初期集中支援チームの新規チーム員を確保。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-3-1	担当部署	保健福祉課（福祉係）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第3項障がい者の自立と社会参加の促進
施策名	**1障がい者に対する理解の促進**
めざす姿	●障がい者に対する理解の促進と情報提供の充実に努めます。 ●関係機関等との連携を図りながら、きめ細やかな相談体制を構築します。 ●災害時や緊急時における障がい者を含む要援護者のため、地区ごとのマニュアルづくりを地区や関係機関等と連携して手あげ方式の支え合いマップと要援護者名簿づくりを進めます。 ●障がい者が地域で快適に暮らせるよう、住宅や公共施設のユニバーサルデザイン化を進めます。 ●障がい者を取り巻く様々な問題について本人の意見を聴く機会を確保し、施策への当事者参加を促進し、福祉の村づくりを進めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 障がい者に対する理解の促進と人権擁護の啓発	100%	100%	100%			実施中
② きめ細やかな相談体制の充実	100%	100%	100%			実施中
③ 住みよい福祉の村づくりの推進	60%	70%	70%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
地域活動支援センターでのボランティア受け入れ	0人	1人以上／月平	0人	0人	0人			○

貢献するSDGs目標

1	2	3	4	5	8	9	10	11
貧困	飢餓	健康福祉	教育	ジェンダー	経済成長	産業基盤	平等	持続可能都市
16	17							
平和公正	パートナーシップ							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	13,332,986	10,443,824		
財源内訳	国庫支出金	円	6,581,530	6,407,053		
	県支出金	円	1,115,765	1,028,526		
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	5,635,691	3,008,245		
職員数	正規職員	人	0.4	0.4		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.4	0.4		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	オアシスや障害者自立支援協議会において、諏訪地域における障害に関する様々な課題の共有や解決を図った。 権利擁護関係では、成年後見支援センター中核機関のR4設置に向けた検討・準備を行った。		オアシスや障害者自立支援協議会において、諏訪地域における障害に関する様々な課題の共有や解決を図った。 権利擁護関係では、成年後見支援センター中核機関を設置した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	成年後見人制度の周知啓発。 要援護者の災害時の対応等の検討。 重層的支援体制の整備に向けた準備。		成年後見支援センターの周知。 重層的支援体制整備事業について、住民、職員、支援者向けのセミナーをそれぞれ開催。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-3-2	担当部署	保健福祉課（福祉係）・子ども課（子育て支援係）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第3項障がい者の自立と社会参加の促進
施策名	**2福祉の充実による生活支援と社会参加の促進**
めざす姿	●乳児期から幼児教育・保育・学校教育における一貫した療育支援体制の整備を図ります。 ●3歳未満児の母子通園実施に向けた検討を行います。 ●健診の推進や健康づくり施策の充実を図ります。 ●多様なニーズに対応できる福祉サービスの充実を図ります。 ●就労の促進や社会参加への支援を実施します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 障がいの早期発見・早期対策と療育・保育・教育の充実	100%	100%	100%			概ね実施済
② 保健・医療サービスの充実	100%	100%	100%			概ね実施済
③ 生活を支える福祉サービスの充実と福祉制度の周知	100%	100%	100%			概ね実施済
④ 就労の促進や社会参加に向けた支援	100%	100%	100%			概ね実施済
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
障がい者就労施設等からの物品等の調達額	770,420円	800,000円以上	775,923円	764,917円	770,420円			○

貢献するSDGs目標

1	2	3	4	5	8	9	10	11
貧困	飢餓	健康福祉	教育	ジェンダー	経済成長	産業基盤	平等	持続可能都市
16								
平和公正								

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	30,688,611	33,150,788		
財源内訳	国庫支出金	円	8,226,328	14,814,515		
	県支出金	円	4,480,551	6,541,495		
	地方債	円				
	その他特財	円	36,000			
	一般財源	円	17,945,732	11,794,778		
職員数	正規職員	人	0.4	0.5		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.4	0.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	【福祉・B】親子で障害を持つ家庭のケースが見受けられる。必要な支援が受けられるよう、子ども課との連携が重要。 【子育・D】① 母子保健と児童福祉、保育、教育が一体的に障害児福祉サービス(児童発達支援センター利用)の前の療育を提供できるよう検討した。		【福祉】要対協へ出席し、障害のある親、子どもに対しての支援の検討や情報共有を行い、子ども課との連携のが図られた。 【子育】① 母子保健と児童福祉、保育、教育が一体的に障害児福祉サービス(児童発達支援センター利用)の前の療育を提供できるよう検討が進まず。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【福祉】障害児について、障害の程度や種類に応じた適切な就園、就学を推進するため、子ども課とより一層の連携を図る。 増加傾向にあるサービス利用について、適正な支給決定を行ったうえで必要な予算を確保する。 【子育】① 母子保健と児童福祉、保育、教育が一体的に障害児福祉サービスの前の療育を提供できるよう、支援会議の体制、療育支援の方法等検討する。		【福祉】増加傾向にあるサービス利用について、適正な支給決定を行ったうえで必要な予算を確保する。障がい者就労施設等からの調達については、庁内への周知を行い、増額に務める。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-4-1	担当部署	総務課（企画振興係）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第4項結婚・出産・子育てできる環境づくり
施策名	**1結婚活動のサポート**
めざす姿	●「ながの結婚マッチングシステム」への登録を推進し、他市町村の独身者とのマッチングすることで出会いの機会を全県に広げます。 ●結婚相談がしやすい環境を整え、支援します。 ●村内だけでなく、諏訪広域連合や八ヶ岳定住自立圏域と連携し、婚活イベント案内や参加の呼びかけを行い、出会いの場の創出を支援します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 相談員の育成	60%	60%	60%			実施中
② 日常的な相談体制の見直し	60%	60%	60%			実施中
③ 出会いイベントの開催	80%	80%	90%			実施済
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
結婚相談所の開催	月1回（日曜日）	月2回	月1回	月1回	月1回			○
【戦略】お見合いの実施	年10回	年15回	年6回	年4回	年9回			○

貢献するSDGs目標

3	5							
健康福祉	ジェンダー							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	112,000	188,380		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	112,000	188,380		
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	A	評価		評価	
	新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、月1回の結婚相談の利用者は2件のみとなった。定住自立圏の婚活イベントもオンラインで開催したが募集人数に達しなかった。 結婚相談員の確保が課題。		婚活イベントは募集定員を大きく超える応募があり開催することができたが、村内の居住者の参加がなかった。 村登録者でお見合い等の支援により成婚につながった事例が1件あった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	結婚相談会の周知を行い相談者の増加を目指す。あわせて結婚相談員の待遇改善を検討して相談員の確保を図る。 感染状況にもよるが、感染症対策をしたうえで婚活イベントを村内で実施したい。		結婚相談会の設定について見直しを行う。 婚活業務専属の地域おこし協力隊の採用を行い、結婚支援体制を強化する。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 C	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-4-2	担当部署	保健福祉課（健康づくり係）・子ども課（子育て支援係・保育園）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第4項結婚・出産・子育てできる環境づくり
施策名	**2妊娠・出産・育児の切れ目のない子育て支援の推進**
めざす姿	●安心して子どもを産み育てられるよう関係機関が連携して、妊娠・出産・育児の切れ目のないきめ細やかな支援体制の充実を図り、子育て中のさまざまな悩みや負担の解消ができるよう相談体制を整えるとともに、身近な場所での親子同士の交流や情報交換の機会を提供します。 ●高齢者や学生など地域の人々との交流や、ボランティア活動など地域全体で子育て支援を推進します。 ●母子保健事業やカウンセラーの配置等を通し、親子の交流や仲間作りを促進し、こころの健康づくりを進めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の推進と経済的支援の継続	80%	80%	80%			実施中
② 悩みや不安に対する育児相談体制の充実と情報提供	80%	80%	80%			実施中
③ 子育て支援サービスの充実と環境整備		30%	70%			実施中
④ 住民との協働による子育て支援	40%	40%	40%			実施中
⑤【戦略】子育てサロンの充実	60%	60%	90%			実施中
⑥【戦略】「子育て塾」など、子育てに関する学習機会の充実	60%	50%	90%			実施中
⑦【戦略】男女共同参画育児の推進（イクメンパパ事業）	40%	40%	40%			実施中
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
育児相談件数	208件／年	270件／年	208件／年	138件／年	83件／年			○
子育てサロンの開設	3日／週	5日／週	3回／週	3回／週	3回／週			○

貢献するSDGs目標

1	2	3	4	5	8	11	16	
貧困	飢餓	健康福祉	教育	ジェンダー	経済成長	持続可能都市	平和公正	

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	253,974,102	148,533,799		
財源内訳	国庫支出金	円	210,058,491	100,921,935		
	県支出金	円	19,038,824	18,256,291		
	地方債	円				
	その他特財	円	28,300	9,530		
	一般財源	円	24,848,487	29,346,043		
職員数	正規職員	人	2.5	2.5		
	会計年度任用職員	人	4.0	4.0		
	合計	人	6.5	6.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【健康・C】育児相談について、コロナウイルス感染拡防止策をとり、予約制で実施した。参加者数は減少したが、電話相談等で育児不安への対応に努めた。 【子育・A】① 制度の沿った各種手当等の給付に加え、コロナ禍での臨時給付金の支給を行った。 ② 子どもに係る全ての機関と有機的に繋がり、相談支援体制を充実させた。 ④⑤ 前年度同様にとどまった。		【健康・C】育児相談について、参加者数は減少したが電話・来所・訪問等随時相談に務めた。他部署連携・多職種連携による継続支援を行った。 【子育・A】① 制度の沿った各種手当等の給付に加え、コロナ禍での臨時給付金の支給を行った。 ② 子どもに係る全ての機関と有機的に繋がり、相談支援体制を充実させた。 ③⑤⑥ 子ども・子育て支援センター完成によりさらなる充実に繋がる。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【健康】各部署と連携し、妊娠期からの継続支援に引き続き務める。 【子育】①②⑦ 継続実施。 ④ 子育て支援センター開所に向けファミリーサポートセンター設置を検討する。 ⑤ 子育て支援センター建設、活用方法を整備する。		【健康】継続実施。各部署と連携し、妊娠期からの継続支援に引き続き務める。 【子育】①②③⑦⑤⑥ 継続実施。 ④ 子育て支援センター開所にともないファミリーサポートセンター設置を検討する。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）

特記事項

前年度評価	総合評価
A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	3-4-3	担当部署	子ども課（子育て支援係・保育園）

節	第3節健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり
項	第4項結婚・出産・子育てできる環境づくり
施策名	**3子育てがしやすい環境づくり**
めざす姿	●子育て家庭に対する経済的支援を行います。 ●男性も女性も働きながら子育てができるとともに、子育てのために離職した人が再就職できる環境づくりを進めます。 ●核家族化や少子化の進行により、保育ニーズは多様化しており3歳未満児の保育所への入所希望が増加しているため、柔軟に対応できるよう、保育施設及びサービスの拡充に努めます。 ●保育施設が老朽化してきているため、適切な維持管理に努めるとともに安全で安心して使用できる施設・環境整備に努めます。 ●共働きなどで昼間保護者のいない児童を対象に、学童クラブや原っ子広場を行っていますが、児童館を含め、その方向性を検討します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 子育て家庭への経済的支援の継続		90%	90%			実施中
② 保育サービスの充実	80%	90%	90%			実施中
③ 子ども子育て支援センターの設置	40%	50%	100%			実施中
④ 保育施設の適切な改修と環境整備	80%	80%	90%			実施中
⑤ 保育所の大規模改修または建て替えの検討	20%	20%	20%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
子ども子育て支援センターの設置	検討中	開設	検討	実施	完成			○

貢献するSDGs目標

1	3	4	5	8	11			
貧困	健康福祉	教育	ジェンダー	経済成長	持続可能都市			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	143,787,277	350,580,317		
財源内訳	国庫支出金	円	18,543,963	104,096,443		
	県支出金	円	5,305,198	4,959,117		
	地方債	円		95,200,000		
	その他特財	円	20,637,920	21,109,973		
	一般財源	円	99,300,196	125,214,784		
職員数	正規職員	人	16.0	17.0		
	会計年度任用職員	人	46.0	47.0		
	合計	人	62.0	64.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	【子育】②　保護者の多様な希望に応じ必要な保育施設利用を可能としました。 ③　子育て支援センター設置に向け建設基本計画、実施設計、アスベスト調査、交付金申請を行った。 【保育】②砂場の囲い工事 ④防火シャッター危害防止装置の設置 ④あやめ組外装工事 ②栄養計算ソフト導入と検食用フリザーの購入 ②一時保育利用 ②つつじ相談事業 ④リズム室エアコン工事		【子育】②　保護者の多様な希望に応じ必要な保育施設利用を可能とした。 ③　子育て支援センター完成。 【保育】 ②　保護者の多様な希望に応じ必要な保育施設利用を可能としました。 ②　小集団保育を行い集団に入りにくいお子さんの保育を2か月に1度行いました。 ④　サンテラス屋根改修工事、外壁塗装工事 ④　リズム室音響工事					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【子育】①②　継続実施 ③　子育て支援センター建設、活用方法を整備する。 【保育】②小集団活動 ②制作ワゴン各クラス1台 ④サンテラス改修工事 ②リズム室音響工事 ④外壁塗装工事		【子育】①②　継続実施 【保育】 ①②　継続実施 ②　信州型自然保育普及型認定申請 ④　園内消火設備漏水点検					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-1-1	担当部署	農林課（農政係・農村整備係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第1項原村の特色を生かした農林業振興
施策名	**1農業生産基盤の整備と農業近代化施設の利用促進**
めざす姿	●老朽化した用排水路、畑かんなどの農業用施設の維持管理を、補助事業の活用と住民協働作業の両面で進めます。 ●パイプハウス補助等の農業振興施策により、野菜・花卉等の作柄安定を図ります。また、施設の有効利用、利用拡大のため生産組織の育成も行います。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 補助事業を活用した畑かんなどの農業用施設の維持管理と整備	40%	60%	80%			実施中
② 補助事業の活用と住民協働の両面での、農業用施設の維持管理の推進	0%	50%	60%			実施中
③ 農業近代化施設の利用拡大の推進		50%	60%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
水路改修	－	1,000m（R2年からの累計）		652m	605m			○
【戦略】畑かん施設（揚水ポンプ）の更新	1機場	1機場	0	1機場	0			○

貢献するSDGs目標

2	6	9	12	17				
飢餓	水・衛生	産業基盤	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	23,448,316	39,330,909		
財源内訳	国庫支出金	円		16,800,000		
	県支出金	円		4,704,000		
	地方債	円	13,000,000	4,300,000		
	その他特財	円	4,140,000	10,497,000		
	一般財源	円	6,308,316	3,029,909		
職員数	正規職員	人	0.6	0.6		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.6	0.6		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【農政・B】補助事業によりパイプハウスの整備を継続して進めている。 農地集積についても継続して推進しており、担い手への集積は進んでいる。 【農村・A】実施予定年度に計画された事業は終了することができた。		【農政】補助事業によりパイプハウスの整備を継続して進めている。 農地集積についても継続して推進しており、集積率は県内でも上位に位置している。 【農村】実施予定年度に計画された事業は終了することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【農政】事業を継続し農業生産の効率化を進める。 【農村】畑かん管路敷設工事について、計画通り実施したい。		【農政】事業を継続し農業生産の効率化を進める。原村営農センターの設備更新が計画されているため、国庫補助事業の活用による支援を検討する。 【農村】畑かん管路敷設工事弓振地区が竣工した。今後の事業について、計画通り実施したい。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）

特記事項

前年度評価	総合評価
B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-1-2	担当部署	農林課（農政係）・農業委員会事務局

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第1項原村の特色を生かした農林業振興
施策名	**2農用地の保全と高度利用**
めざす姿	●農業従事者の更なる高齢化が予想されるため、農地流動化事業による中核的担い手農家への農地の利用集積を行い、遊休農地の解消に努めます。 ●農業振興地域整備計画に基づいて、優良農地の積極的な保全に努めます。 ●増加しつつある有害鳥獣による被害を防止するため、有効な防止策を検討、実施します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 農地の流動化事業による、中核的担い手農家への農地の利用集積と、遊休農地の解消促進	60%	60%	60%			実施中
② 中山間地域直接支払制度利用による農用地の保全		70%	80%			実施中
③ 農業振興地域整備事業に基づく優良農地の積極的な保全の推進	60%	70%	80%			実施中
④ 市民農園による遊休農地の利用促進	20%	30%	50%			実施中
⑤ 多面的機能支払による農地の保全と環境保全	60%	70%	80%			実施中
⑥ 有害鳥獣被害防止対策の実施	60%	70%	70%			実施中
⑦ 農業制度資金利子補給及び利子助成事業		70%	80%			実施中
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
農地流動化の促進による利用権設定面積	261.3ha	270.0ha	275.4ha	278.7ha				◎

貢献するSDGs目標

2	3	12	15	17				
飢餓	健康福祉	消費生産	自然保護	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	95,122,651	92,254,891		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円	63,338,988	61,581,178		
	地方債	円				
	その他特財	円	68,068	99,307		
	一般財源	円	31,715,595	30,574,406		
職員数	正規職員	人	1.9	1.9		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.9	1.9		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【農政・A】各事業とも継続して実施できている。 市民農園に空き区画がない。 【農委・C】利用権設定面積は少しずつ増加しているが、遊休農地の大幅な解消には至っていない。		【農政・A】各事業とも継続して実施できている。 市民農園に空き区画がない。利用権設定面積は増加傾向にある。 【農委・C】遊休農地の筆数、面積は減っているが、大幅な解消には至っていない。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【農政】事業を継続し、農用地の保全に努める。 新たな市民農園の開設を検討する。 【農委】利用集積や遊休農地解消については、農業委員・農地利用最適化推進委員を中心に、最適化活動を進めていく。		【農政】事業を継続し、農用地の保全や利用集積に努める。 市民農園の区画を再編し、区画数の増加や1区画当たりの面積の増加を図る。 【農委】令和5年度に農業委員会の改選があるため、遊休農地解消について、新農業委員・新農地利用最適化推進委員の理解を深めし、最適化活動を進めていく。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-1-3	担当部署	農林課（農政係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第1項原村の特色を生かした農林業振興
施策名	**3農畜産物の振興**
めざす姿	●総合的には、TPP等による農産物輸入問題が本村の農業に与える影響について、国や県の対策を見極めながら迅速な対策を図ります。 ●安全・安心な農産物の生産や地域の環境・気象に順応し、土壌の特性に対応する強い作物を生産することにより農業生産の安定性を確保します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 野　菜		60%	80%			実施中
② 水　稲		60%	80%			実施中
③ 花卉・鉢花		50%	70%			実施中
④ 畜　産		30%	40%			実施中
⑤ きのこ		0%	0%			検討中
⑥ 果　樹		70%	80%			実施中
⑦ 安全で安心な農産物生産の促進	60%	70%	80%			実施中
⑧ 農作物安値対策事業		70%	80%			実施中
⑨ 野菜花卉作期拡大事業	60%	70%	80%			実施中
⑩ 有機栽培産地確立事業	60%	70%	80%			実施中
⑪ 減肥栽培普及促進事業	20%	30%	40%			実施中
⑫ 食の安全安心対策事業	100%	70%	80%			実施中

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
セルリーの年間出荷数	69万ケース	78万ケース	60万ケース	64万ケース	63万ケース			×

貢献するSDGs目標

2	3	6	8	9	12	14	15	17
飢餓	健康福祉	水・衛生	経済成長	産業基盤	消費生産	海洋資源	自然保護	パートナーシップ

費用と職員の状況

項　目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事　業　費		円	17,333,589	15,177,786		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県 支 出 金	円	2,425,500	2,360,400		
	地　方　債	円				
	その他特財	円				
	一 般 財 源	円	14,908,089	12,817,386		
職員数	正 規 職 員	人	1.8	1.8		
	会計年度任用職員	人	1.0	1.0		
	合　　計	人	2.8	2.8		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	各事業を継続して実施した。 令和5年度まで国によるテンサイシストセンチュウの防除が実施される。 セルリーに病害が発生しており、多大な被害が発生した。		国によるテンサイシストセンチュウの緊急防除は令和5年度までの予定だが、南佐久郡でも発生が確認されており、国の今後対応は不透明な状況。 セルリー疫病に対する農薬登録は早くて令和6年の後半になる見込み。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	テンサイシストセンチュウやセルリーの病害に対して県やJAなどの関係機関と連携し、適切に対応する。 肥料・農薬の高騰対策やみどり戦略に対応するためにも、一層の適正施肥、減農薬と有機農法を推進する。		テンサイシストセンチュウやセルリー疫病に対して県やJAなどの関係機関と連携し、適切に対応する。 テンサイシストセンチュウの緊急防除が令和5年度で終了するため、令和6年度以降の防除費用に対する助成を検討する。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 A	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-1-4	担当部署	農林課（農政係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第1項原村の特色を生かした農林業振興
施策名	**4農業後継者の確保・育成と支援**
めざす姿	●農作業アルバイトの雇用促進、家族経営協定の締結による労働環境の改善、経営の安定化を図り、魅力ある農業を展開するとともに、新規就業者を確保し、農業後継者を育成します。 ●信州諏訪農業協同組合(茅野市・原村・富士見地区)農業経営改善支援センターと連携し、認定農業者の育成拡大に努めます。 ●農業者が安心して農作業を行うことができるよう農業労働者災害共済の充実を図り、農作業事故の防止を啓発します。 ●耕作されない農地や利用されていない農機具の把握に努め、就農支援や農業経営支援のための貸借制度を創設し利活用を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 労働環境の改善と農業経営の安定化の促進	40%	50%	60%			実施中
② 農業後継者の育成支援と新規参入者の受入れ体制の整備促進	60%	70%	80%			実施中
③ 認定農業者の育成拡大と、担い手農家の育成	40%	50%	60%			実施中
④ 高齢者や小規模農家が生きがいを持って継続できる農業の検討	0%	0%	0%			検討中
⑤ 農業労働災害の防止活動の推進		80%	90%			実施中
⑥ 農業次世代人材投資事業		70%	80%			実施中
⑦ 就農支援コーディネーター事業	40%	50%	60%			実施中
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
認定農業者の育成と拡大	123人（内、女性5人）	150人（内、女性7人）	120人（内、女性4人）	110人（内、女性5人）	123人（内、女性6人）			×

貢献するSDGs目標

2	5	8	9	12	17			
飢餓	ジェンダー	経済成長	産業基盤	消費生産	パートナーシップ			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	6,074,485	6,508,205		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円	5,361,000	5,361,000		
	地方債	円				
	その他特財	円	605,383	696,105		
	一般財源	円	108,102	451,100		
職員数	正規職員	人	0.9	0.9		
	会計年度任用職員	人	0.1	0.1		
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	各事業とも概ね継続して実施できている。		就農希望者が農地を借りたくても、借りることができる優良農地が無い状況である。 農労災の制度改正に向けて検討を進め、審査会に諮った。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	経営継承を推進することにより、良い一層の農業後継者の確保を図ります。 事業④については、困難な課題であるため今後も検討していく。		新規就農支援や認定農業者の育成拡大を行うとともに、農労災の条例改正を行う。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 C	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-1-5	担当部署	農林課（農政係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第1項原村の特色を生かした農林業振興
施策名	**5農業生産組織の育成**
めざす姿	●関係機関と連携して受託組合の活用を促進することにより、生産コストや農作業の軽減、営農の合理化を図るとともに、農業の中核となる若い担い手農家育成のために青年組織の育成、土地の貸し借りなど農地の流動化を推進します。 ●農業者の高齢化が進み、兼業農家の割合が増加している現状に鑑み、機械の共同利用、作業受託、共同出役等の体制を推進し、集落営農の実現を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 農作業受託組合の活用促進による、農作業の軽減と、営農合理化の促進	40%	50%	80%			実施中
② 集落営農の組織化の推進	40%	40%	40%			検討中
③ 農業青年組織育成事業	60%	70%	80%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
農業生産組織の維持	1団体	1団体		1団体	1団体			◎
【戦略】水田集落営農組織の設置	0人	1人	0人	0人	0人			×

貢献するSDGs目標

2	5	8	9	12	17			
飢餓	ジェンダー	経済成長	産業基盤	消費生産	パートナーシップ			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	50,000	6,913,300		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円		2,500,000		
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	50,000	4,413,300		
職員数	正規職員	人	0.1	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	B	評価		評価	
	そばコンバイン及び乾燥機の貸し付けを継続している。 農業青年組織への補助も継続して実施した。		県補助を活用してそばコンバインを購入し、受託組合への貸し付けを行った。 農業青年組織への補助も継続して実施した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	各事業を継続する。 そばコンバインが経年劣化しているため、新たなコンバインを導入し貸し付けを行う。		集落営農組織は、全国的に見ると構成員の高齢化を理由に平成29年をピークに減少傾向にある。 集落営農に限らず、作業受託可能な農業者への支援等を検討する。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）

特記事項

前年度評価	総合評価
B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-1-6	担当部署	農林課（農村整備係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第1項原村の特色を生かした農林業振興
施策名	**6地域林業の振興と森林の育成・有効活用**
めざす姿	●現在の針葉樹林から、森林としての多様性や高い公益的機能が期待できる針広混交林（針葉樹と広葉樹が適度に混交した林）へと誘導しながら健全な森林づくりを進めます。 ●森林を守り育てていくために、村、森林組合、森林所有者と連携し森林整備及び森林路網整備を進めます。 ●村有林の間伐を計画的に実施するとともに、間伐材の有効利用を推進します。 ●民有林の間伐を促進します。 ●針広混交林への誘導をはじめ、企業・団体・住民との協働による森林整備を進めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 村有林の計画的な整備	100%	100%	100%			実施済
② 間伐材の有効利用		100%	100%			実施済
③ 間伐の普及・啓発	0%	10%	20%			検討中
④ 間伐後の手入れ方法の検討	0%	40%	60%			実施中
⑤ 公民協働による村有林整備の推進	0%	20%	30%			検討中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
村有林整備面積（更新伐、間伐、除伐、植林）	7ha	7ha	8ha	7.37ha	2ha			○

貢献するSDGs目標

3	6	12	15	17				
健康福祉	水・衛生	消費生産	自然保護	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	11,842,748	12,800,170		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円	3,689,300	4,092,700		
	地方債	円				
	その他特財	円	6,461,011	6,669,139		
	一般財源	円	1,692,437	2,097,731		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人	1.0	1.0		
	合計	人	1.5	1.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	計画どおり、令和3年度で間伐が一度終了することができた。今後は更新伐に力を入れていく。搬出経路が課題となっているため、搬出経路を十分確保できるよう、計画的に伐採を行っていく。		更新伐を計画通り行えた。しかし、このままのペースだと村有林全て更新するのに20年以上要する計算になることと、作業道の設置のしにくさが課題となっている。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	間伐が一度終了したため、今後は更新伐に移行していく。更新伐の伐採方法については、当面の計画性を明らかにしていく。		次年度は更新伐+作業道といった形で進めえ行くことを検討している。一気に開けるのではなく必要最低限開けることでその都度見通しを持った設計を行う。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-2-1	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第2項観光を中心にした、各産業間の連携
施策名	**1農業と連携した観光振興**
めざす姿	●地域の人々とのふれあいなどが実感できるよう、農家やクラフトマン、宿泊施設等との連携を図り体験型・滞在型観光を促進します。 ●的確な観光ニーズに対応する魅力あるメニュー、宿泊事業者と連携した受入れ体制の整備やPR活動・観光イベントの充実を図り、農業と連携し観光振興を推進します。 ●ブルーベリー、ラズベリー、ブラックベリー、食用ほおずきの農園は定着してきましたが、農家の協力を得ながら、野菜・花卉等の観光農園も推進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 工房や農家等の体験施設のネットワーク化と、体験メニューの提案	20%	20%	20%			検討中
② ペンションなどの宿泊施設や工房、農家等との連携による体験型・滞在型観光の促進、受入れのコーディネート体制の創設	20%	20%	20%			検討中
③ 農作物収穫体験等による新たな観光魅力の付加	20%	20%	20%			検討中
④ モデルコースの提案と宣伝活動の推進	20%	30%	30%			実施中
⑤ 地域を挙げてのおもてなしの心の醸成	20%	30%	30%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
観光農園の整備	5か所	6か所		0か所	0か所			×
【戦略】農業・収穫体験箇所数	8箇所（R1）	10箇所	8箇所	6箇所	4箇所			○

貢献するSDGs目標

2	8	11	12	17				
飢餓	経済成長	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	577,981	1,299,513		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	577,981	1,299,513		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人	1.0	1.0		
	合計	人	1.5	1.5		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	原村観光連盟による整備活動により地域住民と観光地整備を継続している。地域おこし協力隊によるE-BIKEを活用したモデルコースの作成、発信を行っている。		コロナ禍でもできる誘客促進として、チラシやポストカード等を作成しPRをしている。また、E-BIKEを活用したモデルコースの提案や実施。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	令和4年度では原村観光連盟による整備活動を増やし、グリーンシーズンに向け小径や主要道路の環境美化を行う。八ヶ岳観光圏事業でモデルコースや高付加価値な体験を造成する。		原村観光連盟の整備活動や、独自のイベント等の開催を計画し、観光客や地元の人などを集客に繋げていきたい。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-2-2	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第2項観光を中心にした、各産業間の連携
施策名	**2森林を活用した観光振興**
めざす姿	●森林整備等を通して森林の持つ環境保全等の機能について体験学習できるプログラムを設け、これを観光資源として団体、学校等の誘客に繋げます。 ●「八ヶ岳森の小径」をPRし、ガイドツアー等による誘客を図ります。 ●森林スパ効果の宣伝と普及の促進を図ります。 ●大人のアスレチックやツリーハウスなど新しい取組みを検討します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 森林資源を活用した交流の推進	20%	20%	20%			実施中
② 森林資源を活用し、環境や健康に配慮した観光の促進	20%	20%	20%			実施中
③【戦略】森林を活用し、自然に親しみながら子供から大人までが楽しめる取組の検討		0%	0%			未実施
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
八ヶ岳森の小径を活用したツアー	1か所	2か所		0か所	0か所			○
【戦略】森の小径を活用したガイドツアー数	3（R1）	5	3	0	0			○

貢献するSDGs目標

4	8	11	12	15				
教育	経済成長	持続可能都市	消費生産	自然保護				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	142,700	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	142,700			
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人	1.0	1.0		
	合計	人	1.2	1.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	D	評価	D	評価		評価	
	八ヶ岳森の小径を活用したツアーの造成ができなかった。村内の魅力を再発見していく。		森林資源の活用したものは、現時点では困難な状況。森の小径を取り入れたツアーの造成はできなかった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	八ヶ岳森の小径やおすすめの景観、体験ガイドブックを活用しながら集客が見込めるようなツアーを造成していく。		森の小径や近隣市町村を含めた広範囲のE-BIKEコースを造成し、インバウンド対応もできるようにしていきたい。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-2-3	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第2項観光を中心にした、各産業間の連携
施策名	**3観光拠点の再生とネットワークの整備**
めざす姿	●住民参画による各種イベントや活動がさらに活発化するよう施設の改修を進め、自然との共生を目的とした活動として、多くの方々に利用されるよう施設機能の再編を行います。 ●寒さを資源とした新たな観光の活性化を図る事業等を推進します。また、景色や景観を楽しんでもらうことで、健康生活やスローライフの提案を行うとともに、エコ意識等の特色を出した資源活用を推進します。 ●ペンションなどの宿泊施設と八ヶ岳自然文化園及び八ヶ岳中央農業実践大学校等の各種施設とを関連づけた資源の見直しを行い、それぞれの施設が相乗効果を発揮できる活性化を目指します。 ●行政や観光事業者等の関係者、住民が連携して力強い誘客力を持った魅力ある観光地づくりに取組みます。 ●観光と他の産業を結んだ情報のネットワークを構築し、受入れ体制をより強化できる総合案内機能を整備します。 ●観光施設及びペンションは、観光客の受入れ施設であり、現在ある施設を活かした新たな魅力ある施設への機能の再生を行い、観光振興を図ります。 ●八ヶ岳自然文化園や樅の木荘とペンションが連携したB&B対応の食事の提供や、宴会等の協力体制を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 原村版DMOの研究（観光村づくり）	0%	20%	30%			実施中
② 地域資源を活用した滞在型モデルコースの提案・PR	20%	30%	40%			実施中
③ 各種施設やイベントなどの連携による活性化推進	20%	20%	20%			未実施
④ 観光ガイドの育成	0%	0%	0%			未実施
⑤ 情報ネットワークの構築による総合案内機能の整備やWi-Fiによる観光情報発		70%	70%			実施中
⑥ ホームページなどによる観光情報の発信	60%	70%	80%			実施中
⑦ 観光拠点の強化	60%	60%	60%			検討中
⑧ 魅力的な観光づくりの継続	40%	50%	50%			実施中
⑨【戦略】ペンション後継者の育成支援	20%	20%	20%			未実施
⑩【戦略】ペンションのシェアオフィス化、シェアハウス化等活用支援	20%	30%	30%			実施中
⑪						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
観光地利用者数	170,500人	170,000人	93,300人	146,700人	330,400人			○
【戦略】滞在型モデルコース数	0件（R1）	3件	0件	0件	2件			○

貢献するSDGs目標

3	8	11	12	17				
健康福祉	経済成長	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	3,037,000	2,534,200		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	3,037,000	2,534,200		
職員数	正規職員	人	0.5	0.5		
	会計年度任用職員	人	0.5	0.5		
	合計	人	1.0	1.0		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	原村版DMOについては、現行の体制に代わる何かしらの組織は必要と考えられる。今後も引き続き周辺DMOの視察を行いながら検討していく。 コロナ禍で積極的な誘客はできていないが、諏訪観光連盟インバウンド事業ではE-BIKEを活用したモデルコースの発信を行った。 また、ワーケーション施設等の補助金は2件の申請があった。		原村におけるDMOや観光推進組織の必要性についての意見をまとめた。また、ワーケーション施設等整備促進時業への取組み、広域では御柱事業やフィルムコミッション事業等の観光振興を行った。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	DMOを組織する、しないに係わらず観光業者をはじめとする村内事業者はコロナの影響で苦難しているため、早急に結論を出す必要がある。 活発な村内事業者に協力してもらい、現行の体制から転換していく。		原村DMOについて検討した結果、現時点では組織しないこととなった。今後は他組織との連携を視野に入れながら進めていく。コロナ禍ではあるがイベント等も復活することを見込み、観光や長期滞在等も含めた観光振興を推進していく。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-3-1	担当部署	農林課（農政係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第3項「原村ブランド」を活かした観光振興
施策名	**1農産物の付加価値化**
めざす姿	●農産加工品の開発、農産物の直売等や、化学肥料、農薬の使用をできるだけ抑えた有機栽培、食味に優れる高品質な農産物の栽培方法の研究を行い、安心、安全で、美味しい野菜を生産することで、本村の野菜のブランド化を図るなど、高付加価値で、収益率の高い農業を目指します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① ワイン用ぶどう生産の推進		30%	80%			実施中
② 農産物の販路の拡大	0%	0%	20%			検討中
③【戦略】農産物の付加価値化の実施に向けた調査・研究	20%	30%	40%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
ワイン用ぶどうの生産者	3人	4人		4人	8人			◎
【戦略】ワイン用ぶどうの生産者	4人（R3）	5人		4人	8人			◎

貢献するSDGs目標

2	8	9	12	17				
飢餓	経済成長	産業基盤	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	1,600,000		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円		1,600,000		
職員数	正規職員	人	0.1	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	A	評価		評価	
	ワイン用ぶどうの生産を推進するため、また、6次産業化を支援するため補助事業を創設した。		茅野市及び富士見町と連携してワイン用ぶどうの生産を推進するため、ワイン特区の変更申請を行った。また、当地域のワイン振興が認められ、県の信州ワインバレー構想に「八ヶ岳西麓ワインバレー」が明記された。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	創設した補助事業を活用していただくことにより、農産物の付加価値化を推進する。		継続してワイン用ぶどうの推進を進めるとともに、県や茅野市・富士見町と連携し、ぶどうの栽培技術の確立やワインのブランド化を目指す。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 A	A

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-3-2	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第3項「原村ブランド」を活かした観光振興
施策名	**2星・音楽をテーマとした観光ブランド**
めざす姿	●現在行われている、星・音楽に関するイベントなどを支援し、さらに、新たなブランドへの取組みも進めます。 ●情報提供を積極的に行うとともに、単発的なイベントで終わらせるのではなく宿泊や他の施設・体験に誘導することにより滞留時間を延ばすような取組みを進めます。 ●八ヶ岳観光圏の八ヶ岳ブランドとして星の案内人の育成を図り、ツアーや宿泊者の星の観望会強化を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① ホームページや観光キャンペーンなどを活用したPR活動の推進	40%	60%	60%			実施中
② 宿泊や体験・観光施設を組み合わせたモデルコースの提案・PR	20%	60%	60%			実施中
③ プラネタリウムの設備や番組の更新	0%	0%	0%			実施中
④ 星のガイド育成		80%	80%			実施中
⑤【戦略】星まつりや星の観望会の内容充実	0%	20%	50%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
星まつり参加者	3,213人	3,200人	0人	0人	0人			○

貢献するSDGs目標

4	8	9	11	12	15	17		
教育	経済成長	産業基盤	持続可能都市	消費生産	自然保護	パートナーシップ		

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	50,000	25,323		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	50,000	25,323		
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人	0.5	0.5		
	合計	人	0.7	0.7		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	施策によってではあるが、おおむね実施できた。星まつりや観望会などのイベントが開催できなかったが、コロナ禍でも実施できることを模索していく。		星まつりは実施できなかったが、星みる夜（星空観望会）の開催や、他イベントと共同開催するなど、星降る里原村をPRできた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	全国的にも、屋外イベントが再開される傾向にあるので、実施していきたい。		アフターコロナを見据え、星まつりや観望会の再始動できるような体制を整える。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-4-1	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第4項広域連携による観光振興
施策名	**1観光推進体制の充実**
めざす姿	●市町村の枠を越えた活動とするための受け皿を設置し、観光振興を図ります。 民間の観光産業関係者も巻き込んだ組織として取組みます。さらに、行政、観光連盟、商工会議所、商工会、民間企業、観光関連事業者等で構成するコンベンションビューロのような新たな組織の設立を図り、旅行業へのアプローチだけでなく、MICE※開催誘致等により、原村及び諏訪地方全体の産業競争力向上に繋げます。 ●八ヶ岳観光圏整備事業や八ヶ岳定住自立圏事業を活用して、滞在型観光につながる持続的な取組みを促進します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 八ヶ岳観光圏を活用しての着地型旅行商品の企画・販売	60%	60%	60%			実施中
② メディアを積極的に活用した観光情報の発信	60%	70%	70%			実施中
③ インバウンド事業の体制構築及び支援	0%	10%	10%			実施中
④ キャンペーンなどPR活動協力団体の構築の検討	20%	20%	20%			実施中
⑤ 観光連盟・商工会等の活動支援	80%	80%	80%			実施中
⑥【戦略】諏訪地方観光連盟との連携事業	60%	70%	70%			実施中
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
原村支援による着地型旅行商品の企画・販売	5商品	6商品		0人	0人			○
【戦略】外国人宿泊者数	458人	600人	5人	0人	12人			△

貢献するSDGs目標

4	8	11	12	17				
教育	経済成長	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	1,396,018	2,157,821		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,396,018	2,157,821		
職員数	正規職員	人	0.3	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.3	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	八ヶ岳観光圏としては3年度での着地型旅行商品造成はできなかったものの、4年度事業として星とE-BIKEのツアーを計画している。インバウンド向けに環境配慮やサスティナブルな観光地造成に向けたワークショップ、情報発信を行っている。 諏訪地方観光連盟では御柱と絡めたイベントの開催、諏訪ブランド認定商品の募集、発信を行った。認定商品はレイクウォーク（岡谷市）の協力のもと販売イベントを行った。 例年より広告デザインを一新し、よりインパクトのあるものに変更した。フォトコンテストで募集した作品を使うことで閲覧者からの問い合わせもあった。 着ぐるみ貸出回数：3回		八ヶ岳観光圏事業としては、HPの多言語や滞在プログラムの充実、訪日外国人旅行者の周遊を促進するための事業を中心に行った。また、村内外でもイベントが再開されつつある状況。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	インバウンドの受入緩和が始まり、世界的なニーズである観光配慮、持続可能な旅行商品の造成と、積極的な発信活動を行う。 諏訪エリア、八ヶ岳観光圏ともに自転車をはじめとする屋外アクティビティ、アウトドアを取り入れた事業を計画していく。 地元事業と連携したイベントも継続して行う。		入国の規制緩和に伴い多くの外国人観光客の増加が見込めるが、受入がどこまでできるか分からない。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-4-2	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第4項広域連携による観光振興
施策名	**2広域の観光交通利用対策**
めざす姿	●観光シーズンにおけるJR各駅や高速バス停からの2次交通の確保により誘客を図ります。 ●リニア中央新幹線の山梨停留所からの2次交通を諏訪地域として検討していますが、直行バスの運行により、ペンションなどへの誘客を検討していきます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① JR各駅からのバス等のアクセス便の確保		0%	0%			未実施
② 高速バスを利用した誘客		0%	0%			未実施
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
中央道原バス停からの2次交通の確保	—	実施		未実施	未実施			△

貢献するSDGs目標

3	8	9	11					
健康福祉	経済成長	産業基盤	持続可能都市					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.1	0.1		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	D	評価	D	評価		評価	
	現状、民間事業者によるタクシーやレンタカーの活用を勧めている。		民間事業者が運営しているタクシーやレンタカーの活用を案内している。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	見直し	今後の方針	見直し	今後の方針		今後の方針	
	セロリン号の運行が見直されることから、2次交通の確保の困難が想定されるため、タクシーやレンタカーの利用等の見直しが必要。		セロリン号の運行の見直しにより、今後の動きの中で見直しをする必要がある。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 E	D

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-5-1	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第5項工業振興と企業誘致
施策名	**1企業の支援と育成**
めざす姿	●中小企業の生産性の向上、経営安定を図り、工業製品に求められるニーズに対応するため高度な技術革新を進め、中小企業を活性化し、特に若い世代の就業・雇用の場を増やし、人口定着・移住を促進します。 ●起業者の育成、促進を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 経営基盤の強化と規模拡大への支援	40%	40%	40%			実施中
② 人材育成や技術開発の情報提供及び参加促進の支援	40%	40%	40%			実施中
③ 広域連携の強化による産業活性化支援	40%	40%	40%			実施中
④ 工業技術展等への参加による技術情報の収集及び販路拡大の促進	20%	30%	30%			実施中
⑤ 産学官連携事業の支援	40%	50%	50%			実施中
⑥ 商工会による研修・指導相談体制強化への支援	40%	40%	40%			実施中
⑦ 企業創業支援		100%	100%			実施中
⑧ 起業チャレンジ補助金による支援	80%	80%	80%			実施中
⑨【戦略】商工業活性化補助金による設備等の導入支援	60%	70%	70%			実施中
⑩【戦略】ものづくり教室開催による若年層の人材育成	0%	50%	50%			実施中
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
創業セミナー修了者数	32人	60人		5人	4人			○
【戦略】起業チャレンジ補助金交付者数	3人（H30）	4人	5人	3人	4人			○
【戦略】ものづくり教室参加者数	0人（R1）	15人	0人	46人	34人			◎

貢献するSDGs目標

3	4	5	8	9	11	12	17	
健康福祉	教育	ジェンダー	経済成長	産業基盤	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ	

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	266,658	260,596		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	266,658	260,596		
職員数	正規職員	人	0.4	0.4		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.4	0.4		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	広域・商工会連携をとる事業が弱い。		広域（特に諏訪圏域）で連携していく事業があっても、あまり参加できていない。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	商工会等連携事業の強化		商工会等との連携事業の強化を図る。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-5-2	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第5項工業振興と企業誘致
施策名	**2優良企業の立地促進**
めざす姿	●豊かな自然環境、中央自動車道諏訪南インターに隣接しているという優位性を強調しながら、県とのタイアップ、商工業振興条例による優遇措置、村内のPRなどにより、企業誘致を進めます。 ●大都市圏との交通の近接性、安定している情報通信インフラ、冷涼な環境を活かし、遠隔勤務の企業を誘致し、本村への定住・移住の促進につなげます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 情報の把握、収集による、優良企業の村内誘致推進	20%	30%	30%			実施中
② 原村商工業振興条例による必要な振興措置の実施	40%	60%	60%			実施中
③ 大都市圏の遠隔勤務企業（サテライトオフィス）の誘致	20%	30%	40%			実施中
④ 事務所物件、仲介支援	20%	30%	30%			実施中
⑤ 広域連携の強化による産業活性化支援	40%	40%	40%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
事業所数	16事業所	18事業所	16事業所	16事業所	16事業所			○

貢献するSDGs目標

5	8	9	11	12	17			
ジェンダー	経済成長	産業基盤	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ			

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	1,168,966	1,222,241		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	1,168,966	1,222,241		
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	補助金や誘導事業等の振興措置は当村の弱みである。一つずつ課題をみつけ対処していければと思います。		商工団体等への補助を行い、諏訪地域製造業者の活性化を図った。また、販路拡大の推進するため、諏訪圏工業メッセに出展した事業者への補助も実施した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	商工会からの情報をもとに課題探しから踏み出したい。		補助も支援としては大事であるが、事業者が継続して事業ができることや、新規事業者を増やすことが今後の大きな課題。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 C	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-6-1	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第6項商業・サービス業の振興
施策名	**1商業経営の近代化・活性化の促進**
めざす姿	●地域に密着した事業展開、買い物環境や情報提供等により、事業者の自主的な事業展開を促進するとともに、商工会による経営指導を行い、経営の安定を図ります。 ●国・県の各種支援事業等を効率的に活用し、空き店舗対策・駐車場対策・マネジメント対策等を実施し、経営の活性化をめざします。 ●事業者の経営マネジメント能力の向上を促進するとともに、商工会を中心としたきめ細やかな相談体制の充実を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 商工会による研修・指導・相談体制の強化への支援	60%	60%	60%			実施中
② 各種制度資金の活用による経営基盤の安定化	80%	80%	80%			実施中
③ 利便性の高い経営形態や特色のある商品開発等経営力向上の促進	40%	40%	40%			実施中
④ 国・県の活性化支援事業による人材育成等の活性化の促進	20%	30%	30%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
商業店舗数	37店舗	38店舗	37店舗	37店舗	37店舗			○

貢献するSDGs目標

3	5	8	9	11	12	17		
健康福祉	ジェンダー	経済成長	産業基盤	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ		

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	5,850,000	5,839,384		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	5,850,000	5,839,384		
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	商工会と連携がはかられていない。 商工会との懇談会を1回実施しし、要望等聞くことができた。		商工会との連携があまり取れていない状況ではあるが、創業支援セミナーは継続して実施している。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	商工会との懇談会は継続したい。工業団地組合とも懇談会を復活し情報交換をする中で改善点を見出していきたい。		商工会について、イベント開催や運営の面についての会議や打ち合わせを実施したが、何か連携して行えるような段階まで至っておらず、今後の課題。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）

特記事項

前年度評価	総合評価
E	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-6-2	担当部署	商工観光課（商工観光係）・農林課（農政係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第6項商業・サービス業の振興
施策名	**2他産業との連携による商業の振興**
めざす姿	●経営安定のための販路拡大策として、他産業特に農業との連携による地域特産品等の開発、消費拡大等を図ります。 ●農業や観光産業との連携による相乗効果で、双方の振興を図ります。 ●高原野菜等地元産品を活用した新しい特産品やサービスの掘り起こしを図ります。 ●村内全域が「八ヶ岳西麓原村ワイン特区」に認定されたため、ワイン用ぶどうを利用した商品開発の支援を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 原村産農産物を利用した地域特産品やお土産の研究、商品化の促進	20%	30%	40%			実施中
② 地場産品を活用した新メニュー開発への支援とPRの推進	20%	30%	40%			実施中
③ 原村特産品の認証制度を創設	20%	40%	50%			実施中
④ 小規模ワイナリーの設置支援		30%	70%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
原村特産品認証制度の創設	－	制定		制定	制定			◎
【戦略】地域特産品の開発	0	3	0	4	5			◎

貢献するSDGs目標

2	8	11	12	17				
飢餓	経済成長	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ				

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	22,820	2,022,570		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	22,820	2,022,570		
職員数	正規職員	人	0.3	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.3	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【商観・C】原ブランド特産品に4商品が認定された。今後は量産できる商品を認定していきたい。 【農政・B】6次産業化を支援するため補助事業を創設した。		【商観】原ブランド特産品に5商品を認定した。すでに販売も行っている商品のため、コロナ禍ではあるが、村としてのPRをしていきたい。 【農政】創設した補助事業が活用され、ワイナリーが2か所建設された。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【商観】認定商品を増やすとともに、周知PRを積極的に行う。6年度までに20商品の認定を目指す。 【農政】6次産業化支援事業を活用していただくことにより、農産物の付加価値化を推進する。		【商観】商品の認定をしてきたが、実際に通年販売しているものが少ないことから、PRをしていくためにも商品の安定した供給量が見込めることも加味しながら事業を進めていきたい。 【農政】補助事業を継続することでワイナリーの増加を図る。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	4-7-1	担当部署	商工観光課（商工観光係）

節	第4節産業振興による魅力・活力のある村づくり
項	第7項雇用・勤労者対策の推進
施策名	**1雇用対策の充実**
めざす姿	●勤労者の定着化や雇用を促進し、勤労者の生活の安定、福祉の向上を図ります。 ●長野労働局及び諏訪公共職業安定所等と連携を図り、地域における雇用創造への支援、若年者雇用対策、高年齢者の雇用の確保、障がい者の雇用対策・就職支援、就業技術の習得支援等を実施します。 ●長野労働局や諏訪公共職業安定所等と連携を図り、新規学卒者や求職者に対して情報の提供や職業訓練等の支援を行います。 ●職業技術を習得する場、機会を創出し、若い世代の地元地域での就職を支援します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 雇用・就職対策の推進	40%	40%	40%			実施中
② 新規学卒者のための企業ガイダンスの充実	40%	40%	40%			実施中
③ 職業技術の習得と就業の支援	40%	40%	40%			実施中
④ 勤労者向け融資制度の充実と中小企業労働者の福利厚生向上の支援策の検討	40%	50%	50%			実施中
⑤ 雇用や就職のための情報収集や相談窓口設置の検討	20%	40%	40%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
経済センサス産業従事者数(農林水産業除く)	1,953人	2,050人	1,953人	1,953人	1,953人			○
【戦略】経済センサス産業従事者数(農林水産業除く)	1,924人（H28）	2,000人	1,953人	1,953人	1,953人			○

貢献するSDGs目標

3	4	5	8	9	10	11	12	17
健康福祉	教育	ジェンダー	経済成長	産業基盤	平等	持続可能都市	消費生産	パートナーシップ

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	0	0		
職員数	正規職員	人	0.1	0.1		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.1	0.1		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	雇用・就職対策については村単独の施策がないので、雇用においてはハローワーク、就職においては県の事業や6市町村の企業ガイダンス等に頼っている。		新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を対象に、県よろず支援拠点コーディネーターによる個別相談会や女性就業相談会を実施した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	新規事業として、女性就業支援相談会を実施する。		昨年度に引き続き、女性就業相談会を実施することで、再就職等のサポートをしていく。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-1-1	担当部署	総務課（企画振興係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第1項公民協働の村づくりの推進
施策名	**1住民参画による村づくり**
めざす姿	●今後の村づくりにおいて、自治組織の果たす役割は重要度を増しています。自治組織の役割を明確にし、地域のコミュニティ活動を円滑に進めるため、集落行動計画策定・推進の支援を行います。また、自治組織の役割を周知することにより加入を促進し、住民協働の村づくりを推進します。 ●NPOやボランティア組織等と、行政の支援体制等について検討します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 自治組織への加入支援	80%	80%	80%			概ね実施済
② 集落行動計画策定・推進支援（おらほうの村づくり事業補助金）	100%	80%	80%			実施中
③ コミュニティ活動の推進と支援	100%	100%	100%			実施済
④ 住民参加による取組の推進		0%	60%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
集落行動計画の策定	7地区	全地区	7地区	7地区	8地区			○

貢献するSDGs目標

4	11	16	17					
教育	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	6,200,000	5,458,148		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	5,700,000	4,982,000		
	一般財源	円	500,000	476,148		
職員数	正規職員	人	0.3	0.4		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.3	0.4		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	D	評価	A	評価		評価	
	1件集落行動計画策定について相談があった。		1地区で集落行動計画策定があった。また、住民参加による村づくりとして「地域づくり支援事業補助金」がスタートした。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	引き続き、集落行動計画未策定の区・自治体に対して周知していきたい。		引き続き、集落行動計画未策定の区・自治体に対して周知していきたい。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-2-1	担当部署	総務課（企画振興係・情報防災係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第2項開かれた村政の推進
施策名	**1住民との情報共有と適正な運用**
めざす姿	●住民参加と協働による村づくりを進めるために、村政に関する情報について住民と共有化を図り、開かれた村政を実現します。 ●マイナンバーを含む個人情報の適正な管理・運営を推進するとともに個人情報に対する職員の意識の向上を図ります。 ●むらづくり講座の活用を促すとともに、講座メニューを充実します。 ●満足度の高い行政サービスの向上に向けてより見やすいホームページに改訂するとともに、従来のパソコンや携帯電話等の情報端末に加えスマートフォンやタブレット端末対応、SNS（ソーシャルネットワークサービス）への情報提供を図ります。 ●災害時における情報提供サービスや、無線LANなどを用いた情報インフラを検討します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 情報の公開・提供の充実		70%	70%			実施中
② 広報・広聴活動の充実		100%	100%			実施中
③ むらづくり講座の充実		60%	80%			実施中
④ 有線放送の加入促進		90%	90%			実施中
⑤ 情報の管理と適正な運用		100%	100%			実施中
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
むらづくり講座の開催	0回	5回		2回	4回			○
村ホームページの閲覧者数	249,590件	280,000件		270,511件	239,286件			○
有線告知放送への加入	1,977件	2,057件		1,989件	1,980件			△

貢献するSDGs目標

16	17							
平和公正	パートナーシップ							

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	9,623,019	11,299,542		
財源内訳	国庫支出金	円		120,000		
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	3,422,268	3,048,696		
	一般財源	円	6,200,751	8,130,846		
職員数	正規職員	人	1.4	1.4		
	会計年度任用職員	人	0.3	0.3		
	合計	人	1.7	1.7		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【企画】むらづくり講座は感染症の影響により中止した講座もあった。 【情報】有線放送加入促進のため、窓口案内用有線放送未加入の方への情報発信については更に研究が必要。マイナンバーなど個人情報の保護については、職員研修を通じ適正な管理運用を行っている。		【企画】申し込みのあった村づくり講座に担当職員を派遣して実施できた。 【情報】有線放送加入促進のため、窓口案内において有線放送未加入の方へ丁寧な説明を行っているものの、更に加入促進への研究が必要。ホームページのリニューアルにより、目的のページに簡単にたどり着けるよう、検索画面をトップページに配置するなどの改善を行った。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【企画】村づくり講座は感染症対策を実施して開催要望に応えていく。 【情報】情報発信力を強化するため、ホームページのリニューアルを図り、分かりやすい情報発信に努める。また同時に、有線放送加入促進だけでなく、新たな情報発信手段として有線放送未加入者へ、ホームページへ放送内容の掲載を検討していく。		【企画】引き続き村づくり講座の開催要望に応えていく。 【情報】住民等のホームページの利便性を向上させるため、常に新しい情報を掲載するよう努める。有線放送加入率が低い保健休養地域エリアへの転入者に加入促進を努める。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 E	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-2-2	担当部署	総務課（情報防災係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第2項開かれた村政の推進
施策名	**2DXの推進**
めざす姿	●あらゆる分野において様々なICT（情報通信技術）の活用を検討し、導入を進めることにより、住民サービスの向上と業務効率化による行政運営の質的向上を図ります。 ●総合行政ネットワークサービスを活用した各種電子申請・電子届出や電子申告等、さらなる情報サービスの利便性の向上を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 先端技術の積極的な導入		30%	40%			実施済
② 行政手続きのオンライン化		100%	100%			実施済
③ オープンデータ化の推進によるビッグデータの提供		50%	50%			実施済
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
先端技術の導入数	0	4（令和6年までの累計）		1	3			○
オンラインによる手続メニュー数	19件	30件		30件	100件			◎
オープンデータの公開数	5	10		5件	5件			○

貢献するSDGs目標

2	3	4	5	7	8	9	11	12
飢餓	健康福祉	教育	ジェンダー	エネルギー	経済成長	産業基盤	持続可能都市	消費生産
13	15	17						
気候変動	自然保護	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	57,083,245	115,052,314		
財源内訳	国庫支出金	円	3,475,890	7,667,380		
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	377,280	256,760		
	一般財源	円	53,230,075	107,128,174		
職員数	正規職員	人	1.3	1.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.3	1.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	A	評価		評価	
	令和4年度の押印廃止に向けて行政手続きオンライン化を推進し30手続きをオンライン化した。また、オンライン化に事務を合わせることで事務処理を効率化した。 テレワーク環境を整えコロナ蔓延期において在宅勤務がスムーズに実施できた。		ホームページをリニューアルし、そのデザイン性と検索性が向上した。さらに、文書管理システムを導入することで、決裁にかかる時間を大幅に短縮し、公文書管理の精度（機密性や検索性）も向上することができた。また、庁内のPCを無線化することにより、会議資料の印刷という非効率的なタスクが不要になった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	住民サービス向上のためオンラインによる手続きメニューを700件目標に進める。文書管理システム・電子決裁の導入し事務の効率化を図る。庁内事務端末を無線化し自席以外においても仕事ができる環境にし業務改善を図る。村HPをリニューアルし、村発信の情報へのアクセスのし易さを向上させる。		これまでに導入した各種ツール（電子申請、電子決裁、AIによる文字起こし、無線化、チャット、生成系AIなど）の組み合わせより業務効率を更に向上させます。そして、その結果生じた余剰時間を利用し、より高度で創造的な仕事へとシフトさせます。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 E	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-3-1	担当部署	総務課（企画振興係）・商工観光課（商工観光係）・建設水道課（建設係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第3項広域行政の推進
施策名	**1広域行政による効率化と活性化**
めざす姿	●諏訪圏域の活性化を図るため、関係自治体との機能分担と施策の連携により交通体系や生活基盤、医療、農業振興、商工業の振興、観光振興、文化施設の整備、情報ネットワークの構築等を広域的に進めます。 ●八ヶ岳定住自立圏域の市町村が相互に連携と協力を行い、圏域全体の生活機能の強化等に取り組み、安心して暮らせる地域を形成することにより、人口の確保と活性化を図ります。 ●それぞれの市町村が処理している各種事務のなかで、単独で処理するより広域的に処理することが合理的で望ましい事務について調査研究し、事務処理の効率化、合理化を追求します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 事務処理の共同化の推進	20%	20%	20%			実施中
② 八ヶ岳定住自立圏による地域の活性化	60%	60%	60%			実施中
③ 広域的な観光振興の展開	60%	40%	40%			実施中
④ 諏訪圏域内幹線道路の一体的な整備の促進	20%	20%	20%			実施中
⑤ 中央自動車道の渋滞緩和	40%	50%	50%			実施中
⑥ リニア中央新幹線開業を見据えた公共交通の研究	40%	50%	50%			実施中
⑦ 中央東線高速化の促進	40%	50%	50%			実施中
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン取組み事業数	27事業	30事業		30事業	29事業			○
【戦略】諏訪広域相談窓口での相談件数	310人（H30）	350人	91人	174人	0人			×
【戦略】八ヶ岳定住自立圏での移住相談者数	50人（R1）	60人	44人	35人	30名			○

貢献するSDGs目標

4	6	8	9	11	12	13	17	
教育	水・衛生	経済成長	産業基盤	持続可能都市	消費生産	気候変動	パートナーシップ	

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	10,272,725	254,370		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	10,272,725	254,370		
職員数	正規職員	人	0.6	0.8		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.6	0.8		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	C	評価	C	評価		評価	
	【企画・C】八ヶ岳定住自立圏事業ではコロナの影響により実施できない事業があった。 【商観・C】コロナの影響により、延期又は中止した事業もあった。また、コロナ後を見越したインバウンド事業にも力を入れた。実際の受け入れができるのかどうか不透明。 【建設・A】④ズームラインのオーバーレイを実施した。湧水対策工事を実施した。		【企画】八ヶ岳定住自立圏事業では1事業が実施できないとして、共生ビジョンから削除された。諏訪広域相談窓口は廃止された。 【商観】コロナ禍でも規模や内容の見直しを行いながら徐々にイベント等を開催することができた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	**継続**	今後の方針	**継続**	今後の方針		今後の方針	
	【企画】諏訪地域、八ヶ岳山麓地域、八ヶ岳定住自立圏等の広域連携を深めていく。 【商観】コロナ後を見越したインバウンド事業などを実施しているが、実際の受け入れ態勢など、具体的な動きにも力を入れていきたい。 【建設】継続してズームラインのオーバーレイを実施予定。		【企画】諏訪地域、八ヶ岳山麓地域、八ヶ岳定住自立圏等の広域連携を深めていく。 【商観】先ずは国内旅行に重点を置いて、インバウンド事業にも対応できるような体制を取っていきたい。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 B	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-4-1	担当部署	総務課（総務係・企画振興係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第4項効率的な行政運営
施策名	**1機能的な組織体制**
めざす姿	●関連する業務の窓口が1箇所に集約されるワンストップサービスの実施等、住民に行政サービスを受ける面でわかりやすく親しみやすい組織とし、住民の利便性の向上が図られる組織の再編を推進します。 ●各課にまたがる課題に対しては横断型のプロジェクトチームによる対応等を図り、縦割り行政の弊害を無くします。 ●課及び職員の削減については、事業は拡大しつつ人員の削減は限界にきていることから、単独事業等の削減について住民の皆さんから意見をお聞きするなかで対応します。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 住民の利便性が図られる組織の再編		80%	80%			実施中
② 事務処理・意思決定の迅速化		60%	60%			実施中
③ 効率的な窓口体制の構築		60%	70%			実施中
④ 職員能力の向上と柔軟な職員体制の推進		90%	70%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
庁内組織検討委員会による取組	原村人材育成基本方針（平成10年12月28日）	原村人材育成基本方針の改定		検討中	検討中			○

貢献するSDGs目標

8	16	17						
経済成長	平和公正	パートナーシップ						

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	667,844	2,737,475		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円	667,844	2,737,475		
職員数	正規職員	人	1.1	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	1.1	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【総務】コロナ禍のため主にオンラインでの研修となったが、30講座に延べ100名の参加があった。 【企画】庁内組織検討委員会を開催して組織や所掌事務の見直しに関する報告書にまとめた。		【総務:C】ほとんどの研修がオンラインであった。23講座に延べ59人の参加があった。 【企画:B】庁内組織検討委員会を開催して組織や所掌事務の見直しに関する報告書にまとめた。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【総務】感染症対策を徹底し、対面での研修も視野に入れつつ、引き続き積極的な職員研修への参加を呼びかけたい。 【企画】職員提案を基に、庁内組織検討委員会で組織の見直しを図る。		【総務】アフターコロナに向け、対面の、より効果的な研修を実施できるよう、計画していきたい。 【企画】職員提案を基に、庁内組織検討委員会で組織の見直しを図る。					

評価結果（審議会評価）	（実施日　令和5年11月30日）	総合評価
特記事項	前年度評価 B	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-4-2	担当部署	総務課（企画振興係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第4項効率的な行政運営
施策名	**2事務内容の効率化**
めざす姿	●身近な行政サービスを提供する基礎的な自治体として、住民と行政との役割分担の見直しや、公民協働の村づくりを進めます。 ●施設の活用については、住民の意見を取り入れながら、住民ニーズに即した活用方法を検討していきます。住民にとって効率的かつ効果的な業務運営を行い、経費削減を図る一方、民間委託や指定管理者制度の活用等により、経費節減だけでなく住民にとって使いやすい業務運営を行います。 ●行財政改革を推進するとともに、行政評価システムの試行を踏まえ、今後、行政評価システムにより進行管理を行い、PDCAサイクルに基づいて実施計画に反映していきます。 ●働き方改革や新たな生活様式への対応など、新たな時代における職場環境の整備に向け、先端技術の導入を進めます

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 実施計画による事務事業の見直し		100%	100%			実施中
② 行政評価の推進		60%	60%			実施中
③ 民間活力の推進		60%	60%			実施中
④ 先端技術の導入		60%	60%			実施中
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値	実績（見込）値					達成判定
		R6	R2	R3	R4	R5	R6	
行政評価の実施	試験導入	本運用		実施	実施			◎

貢献するSDGs目標

8	11	16	17					
経済成長	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.2	0.2		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.2	0.2		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	実施計画のヒアリング方法を見直し、事業精査を行った。 第5次原村総合計画（後期基本計画）と第2期総合戦略の内容に差異が生じていたため、総合戦略の一部を見直して整合を図った。		実施計画のヒアリング日を前年度より増やすなど十分に協議ができた。 総合計画と総合戦略の進捗管理を一体化して、わかりやすい評価方法に変更した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	実施計画は次年度の同様の方法で見直しを行っていく。 総合計画と総合戦略の評価・進捗管理をわかりやすくまとめる。		実施計画策定は電子化するため策定方法を見直す。 総合計画・総合戦略の評価結果を次年度以降に活かしていく。					

評価結果（審議会評価）　（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 C	B

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-5-1	担当部署	住民財務課（財政係・税務係）・総務課（企画振興係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第5項健全な財政運営
施策名	**1財政の基盤強化と効率的な財政運営の推進**
めざす姿	●経常経費の抑制や効率的な財政運営を進めることで、可能な限り政策的経費の捻出に努めます。 ●計画実施に向け、新たな財源を確保し、財政基盤の強化を図ります。 ●的確な課税客体の把握と適正な課税に努め、料金徴収担当課を含め近隣市町、県、国との連携を取りながら、効率的で公平な徴収を行います。 ●収入と支出のバランスが取れた財政運営に努めます。 ●使用料・手数料・負担金等の適正な受益者負担を求めます。 ●地域経済分析の結果等を踏まえ、新たな財源確保に努めます。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 計画実現に向けた弾力的・効率的な財政運営の展開		40%	50%			実施中
② 公平な徴収と適正な受益者負担		100%	100%			実施中
③ ふるさと納税制度の活用		100%	100%			実施中
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
村税の収納率	99.1%	99%以上		99.6%	99.6%			○
財政力指数	0.40	0.40以上		0.38	0.37			△

貢献するSDGs目標

10	11	16	17					
平等	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	29,173,275	17,566,277		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円	16,984,104	11,761,379		
	一般財源	円	12,189,171	5,804,898		
職員数	正規職員	人	1.3	1.4		
	会計年度任用職員	人	0.9	1.0		
	合計	人	2.2	2.4		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	A	評価	B	評価		評価	
	【財政・B】令和3年度は、基準財政需要額が地上デジタル社会推進費、単位費用の増加により増えたことと基準財政収入額が村税の個人所得の減少したことから財政力指数が目標値を下回った 【税務・A】令和2年度に長野県町村部で第4位となる徴収率が確保でき、令和3年度においても、同水準の徴収率を達成した。 滞納整理基本方針に基づく①こまめな催促、②徹底した差押え、③適切な進行管理により、税の公平性の確保に努めた。 【企画・A】ふるさと寄附金は過去最高額を達成した。		【財政・B】経済活動の制限等の影響による税収入の低下のため財政力指数が下がった。公共施設の管理においては年間12億円程度の償却が算定されている。課題として、次年度以降、村独自事業の支出を見直す必要が生じていると考えられ、成果としては、未来に備え1億円を財政調整基金に積み立てられた。 【税務・A】令和4年度においても、高い水準の徴収率を達成した。 滞納整理基本方針に基づき税の公平性の確保に努めた。 【企画・C】ふるさと寄附金は前年度より寄附額が少なかった。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【財政】収支バランスとれた財政運営に努める 【税務】納め忘れを防止し、徴収事務の効率化を図るため、次の取組により口座振替の勧奨に努める。 電子申請による村税等口座振替依頼書送付依頼フォームの作成・活用（R4.4～） ナッジの知見を活用した口座振替勧奨チラシの作成・配布（固定・国保納通に同封） 【企画】引き続き、返礼品の開拓を行い、寄附額の増加を目指す。		【財政】課題から支出の増大及び未来の公共施設の更新等を見据えた上での予算作成が必要である。 【税務】令和5年4月から、新たに納付書に印字される地方税統一QRコードを利用して、納付方法を大幅に拡充する。 【企画】返礼品発掘が課題のため、専門人材を雇用する必要がある。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 E	C

第5次原村総合計画（後期基本計画）及び第2期原村地域創生総合戦略　進行管理シート

施策コード	5-5-2	担当部署	住民財務課（財政係）・総務課（企画振興係）

節	第5節皆が活躍できる持続可能な村づくり
項	第5項健全な財政運営
施策名	**2財政健全化の取組みの推進**
めざす姿	●公共施設やインフラの長寿命化や更新については、計画的な実施に努めます。 ●村債は将来負担を考慮して抑制に努めます。 ●わかりやすい財政情報の開示に努め、財政運営の透明性を図ります。

具体的施策事業	事業進捗率					進捗状況
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 公共施設等総合管理計画に沿った施設等の更新		20%	20%			実施中
② 村債の計画的な借入れと公債費負担の抑制		50%	50%			実施中
③ 財政情報の提供と財政運営の透明性の確保		50%	50%			実施済
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

施策の達成指標

施策指標	基準値	目標値 R6	実績（見込）値 R2	R3	R4	R5	R6	達成判定
健全化判断比率（実質公債費比率）	6.2%	10%以下		6.7%	6.9%			○

貢献するSDGs目標

9	11	16	17					
産業基盤	持続可能都市	平和公正	パートナーシップ					

費用と職員の状況

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費		円	0	0		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他特財	円				
	一般財源	円				
職員数	正規職員	人	0.4	0.3		
	会計年度任用職員	人				
	合計	人	0.4	0.3		

担当課評価及び当年度の成果等と次年度の予定等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
成果、課題など	評価	B	評価	B	評価		評価	
	【財政・B】予算・決算を広報誌に掲載し、財政情報を周知した。 令和3年度年度の実質公債費比率は、目標値を下回る見込みであるが、上昇傾向にある。 【企画・C】公共施設等総合管理計画に子育て支援センターを記載するため、計画の見直しを行った。		【財政・B】予算・決算を広報誌に掲載し、財政情報を周知した。 令和4年度の実質公債費比率は、目標値を下回る見込みであるが、上昇傾向にある。 【企画・C】公共施設等総合管理計画の更新漏れに対応した。					
次年度の予定、改善点など	今後の方針	継続	今後の方針	継続	今後の方針		今後の方針	
	【財政】償還年数を見直すなど、実質公債費比率が目標値を超えないよう努める。 【企画】公共施設管理計画に沿った施設等の更新について実施計画策定の際に確認をしていく。		【財政】償還年数を見直すなど、実質公債費比率が目標値を超えないよう努める。 【企画】公共施設管理計画に沿った施設等の更新について実施計画策定の際に確認をしていく。					

評価結果（審議会評価）（実施日　令和5年11月30日）		総合評価
特記事項	前年度評価 E	C